

WALLZET NOEL 3

クローゼットシステム収納 [ウォールゼット ノエル3]

施工説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業 グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業 グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はし兼ねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。
屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけない
ようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

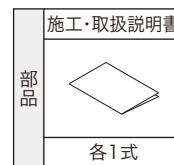
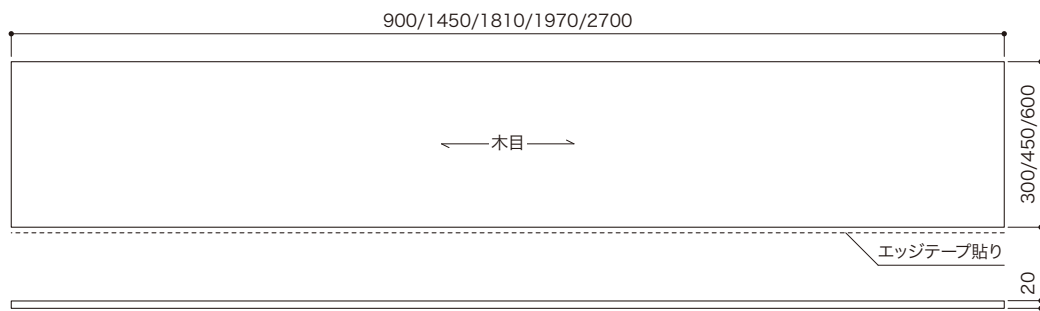
製品図面・パーツセット明細	1~7
施工前の確認事項	8~9
躯体準備	10~11
施工手順	12~27
設置位置イメージ	27~29

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

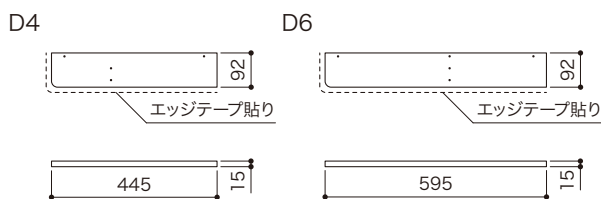
ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

天板

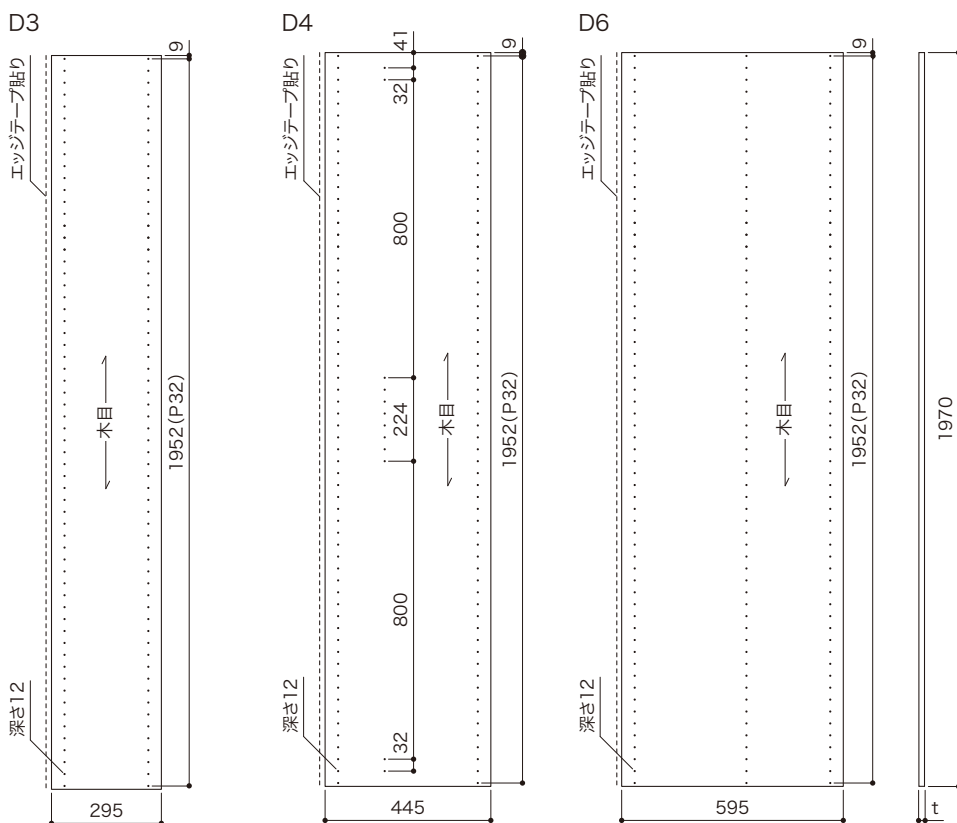


※サイズにより、「ウォールゼットノエル3」以外の製品に関する施工・取扱説明書が同梱されていますが、本製品の施工には必要ありません。

ショート側板

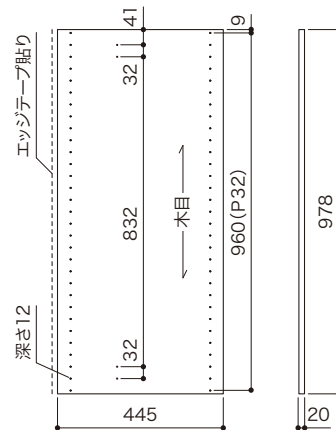


側板・エンド側板



側板 t=15
エンド側板 t=20

ハーフエンド側板



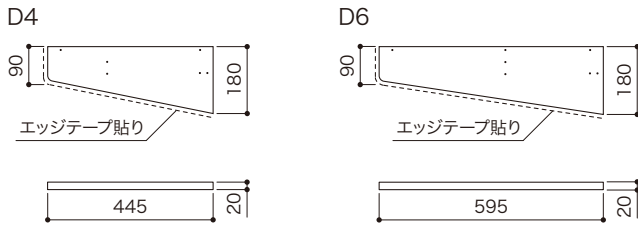
部品	パーツ/サイズ	樹脂金具	バインドビスL=16	バインドビスL=50	ビスキャップセット	エッジテープ
ショート側板	D4	3個	6本	1本	2セット	—
	D6	4個	8本	1本	3セット	—
側板	D3・D4	3個	6本	2本	6セット	—
	D6	4個	8本	2本	6セット	—
エンド側板	D3・D4	5個	10本	2本	—	1枚
	D6	7個	14本	2本	—	1枚
ハーフエンド側板		5個	10本	2本	—	1枚

製品図面・パーツセット明細

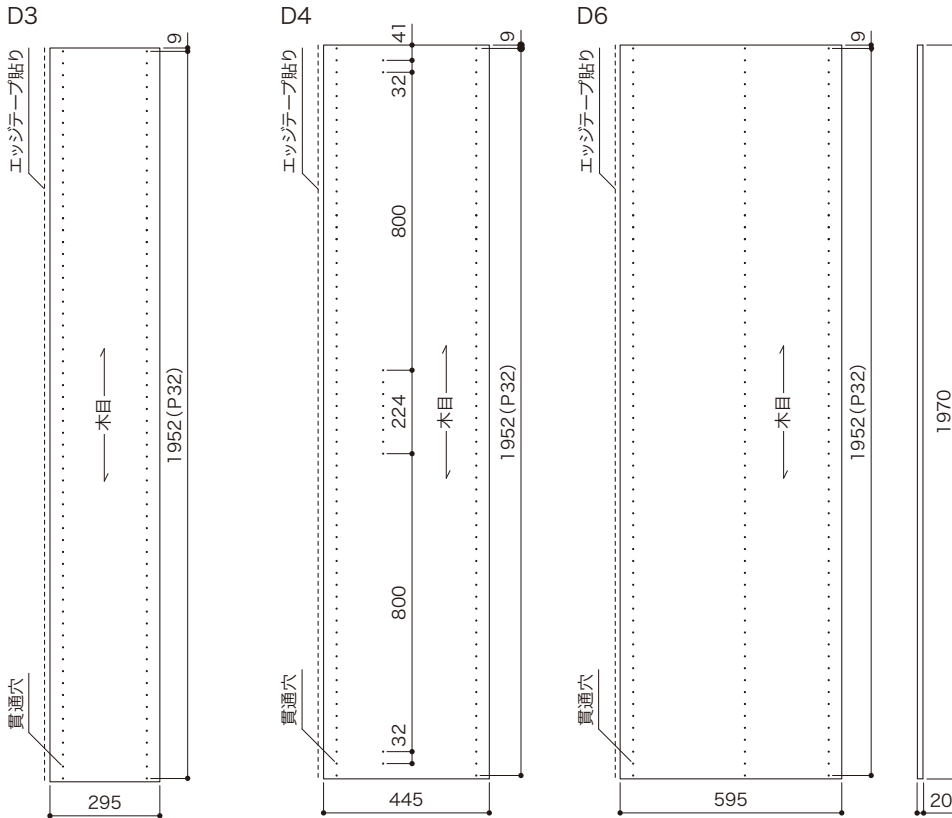
寸法単位:mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

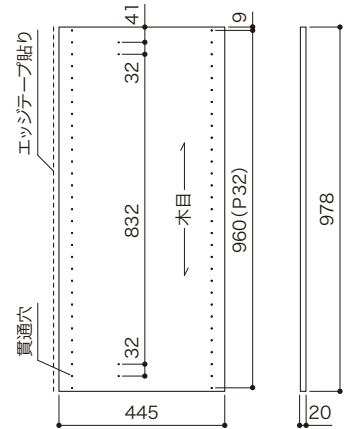
ショート仕切板



仕切板



ハーフ仕切板

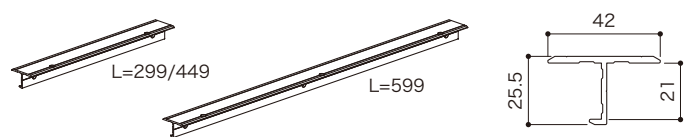


部品	パーツ/サイズ	樹脂金具	バインドビスL=16	バインドビスL=50	L字ブラケット	L字カバー	サラビスL=51	システムビスL=13.5	サラビスL=20
		ショート仕切板	D4	4個	8本	—	3個	3個	3本
	D6	6個	12本	—	3個	3個	3本	4本	2本
仕切板	D3・D4	5個	10本	2本	—	—	—	—	—
	D6	7個	14本	2本	—	—	—	—	—
ハーフ仕切板		5個	10本	2本	—	—	—	—	—

両側オープン施工用金具セット

部品	L字ブラケット	L字カバー	バインドビスL=16	サラビスL=51
	2個	2個	4本	2本

ジョイント金具



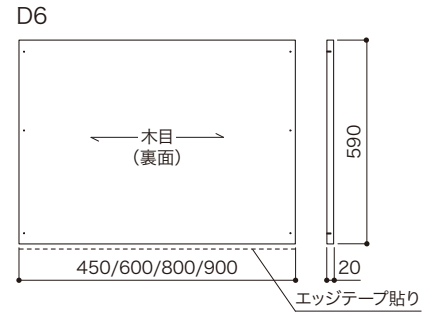
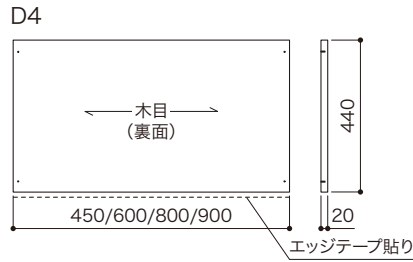
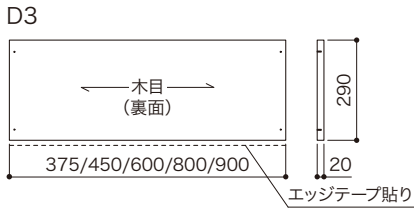
部品	サイズ	サラビスL=16	サラビスL=30
	D3・D4	2本	2本
D6	3本	3本	

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

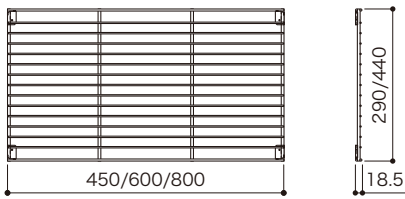
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

棚板(可動・固定兼用)



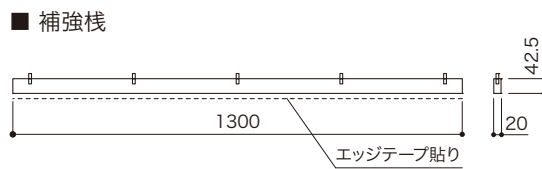
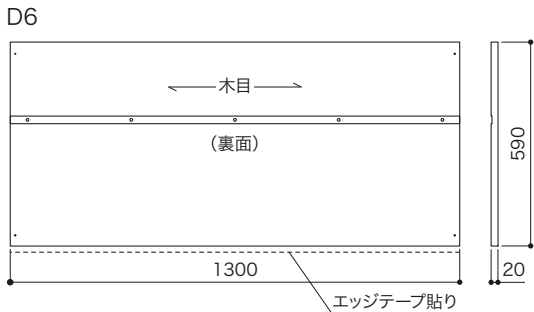
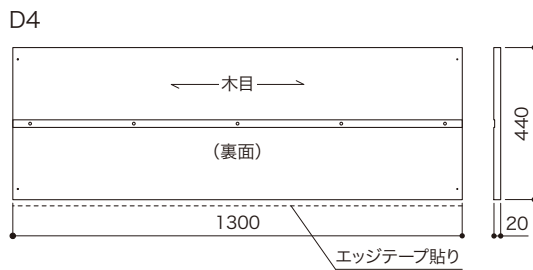
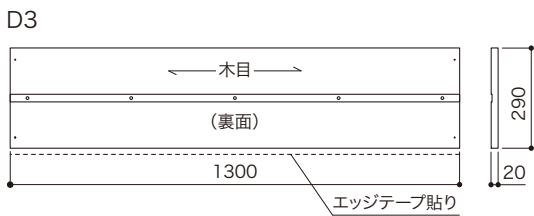
部品	サイズ	樹脂金具	バインドビスL=16	可動棚受(前)	可動棚受(後)
	D3・D4	4個	8本	左右各1個	2個
D6	6個	12本	左右各1個	4個	

網棚(可動・固定兼用)



部品	樹脂金具	バインドビスL=16	固定ネジL=10	可動棚受(前)	可動棚受(後)
4個	4本	4本	左右各1個	2個	

フリーカット棚板



部品	補強棧	樹脂金具	バインドビスL=16
1本	6個	12本	

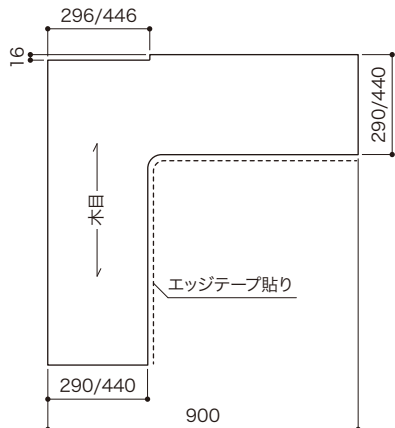
製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

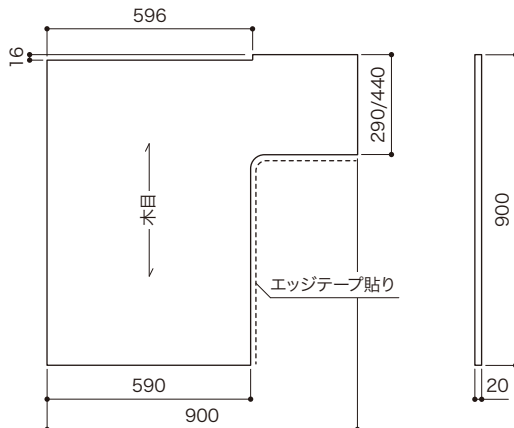
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

コーナー棚板

D3、D4

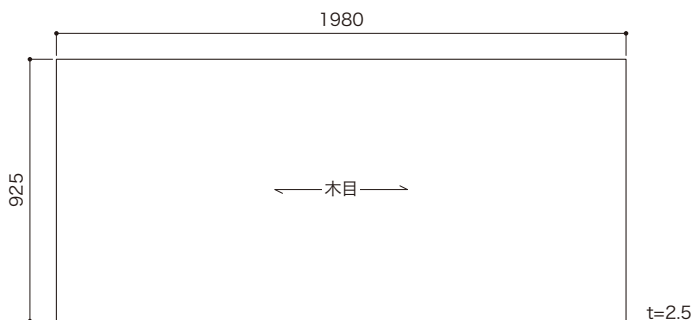


D6・D3、D6・D4

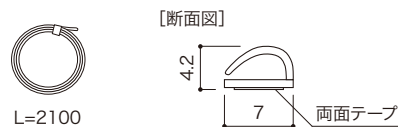


部品	サイズ	樹脂金具	バインドビスL=16	可動棚受(前)	可動棚受(後)
D3、D4		6個	12本	左右各1個	4個
D6・D3、D6・D4		8個	16本	左右各1個	6個

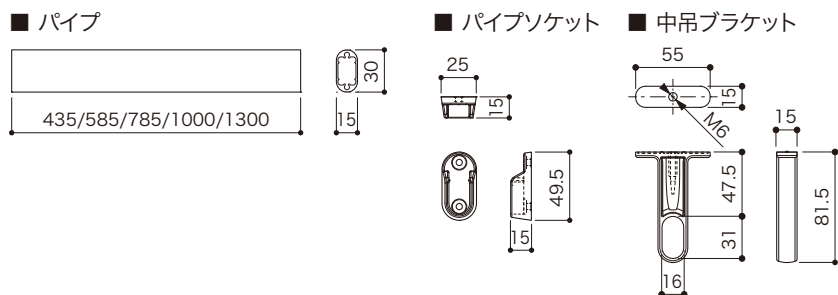
背板パネル



隙間かくし材

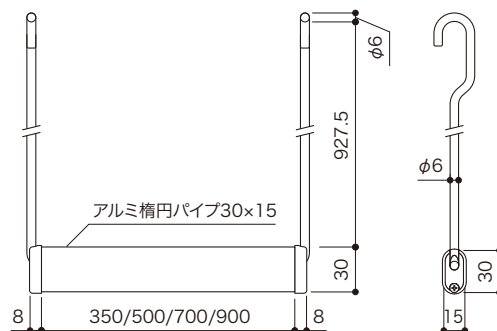


ハンガーパイプ



部品	サイズ	パイプソケット	バインドビスL=16	中吊ブラケットセット	
450・600・800		2個	4本	—	
1000・1300		2個	4本	1セット	

フックハンガー



部品	サラビスL=16
	2本

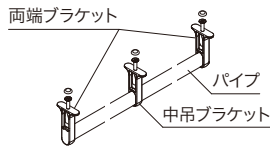
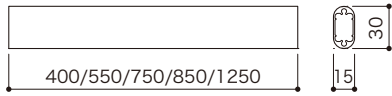
製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

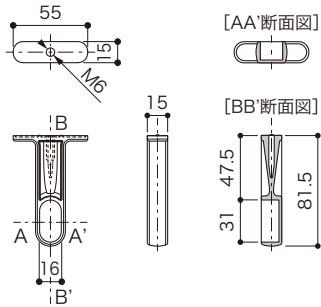
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

上吊ハンガーパイプ

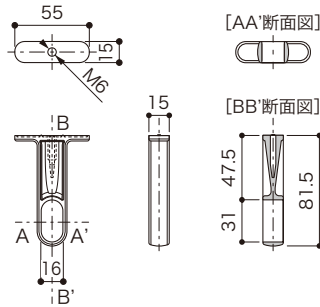
■ パイプ



■ 両端ブラケット

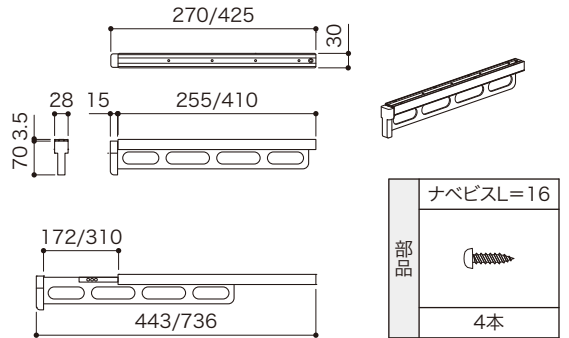


■ 中吊ブラケット

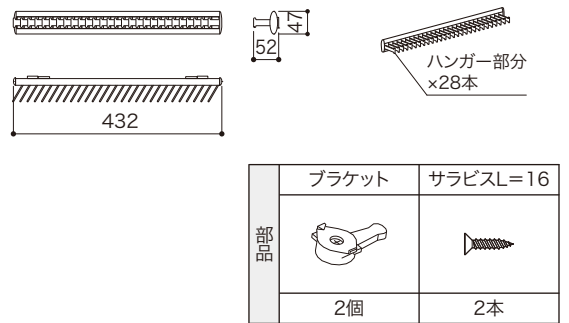


部品	サイズ	両端ブラケットセット		中吊ブラケットセット	
		両端ブラケット	ボルト・ビスキャップ	中吊ブラケット	ボルト・ビスキャップ
	405・555・755・855	2セット	—	—	—
	1255	2セット	—	1セット	—

スライドハンガー

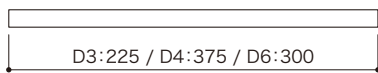


ネクタイハンガー

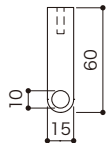


小物ラック

■ パイプ(φ10)

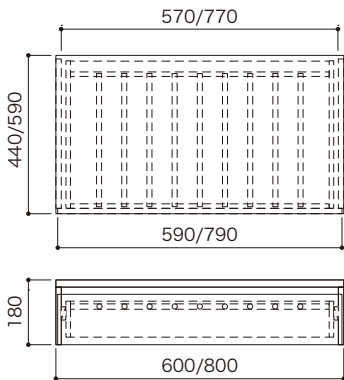


■ ブラケット

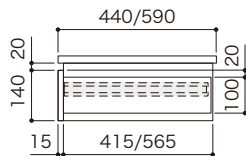
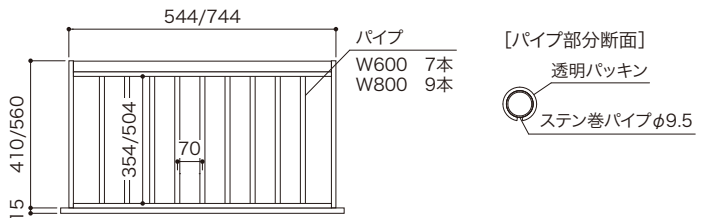


部品	ブラケット	固定ネジL=30	ビスキャップセット
	2個	2本	2セット

スラックスハンガー



■ 引出し



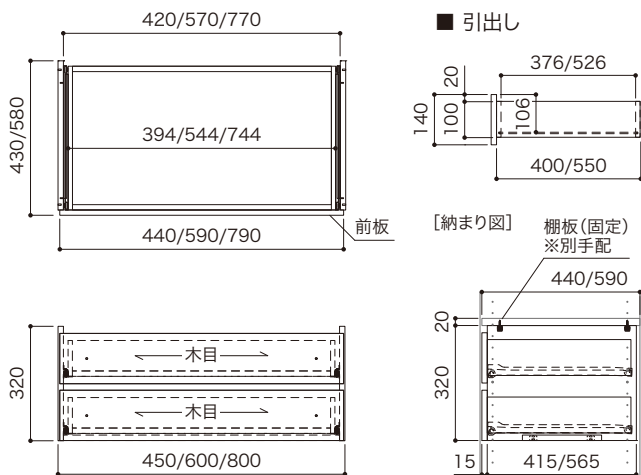
部品	サイズ	ビスL=25	位置だしピン
		D4	4本
D6	6本	4本	4本

製品図面・パーツセット明細

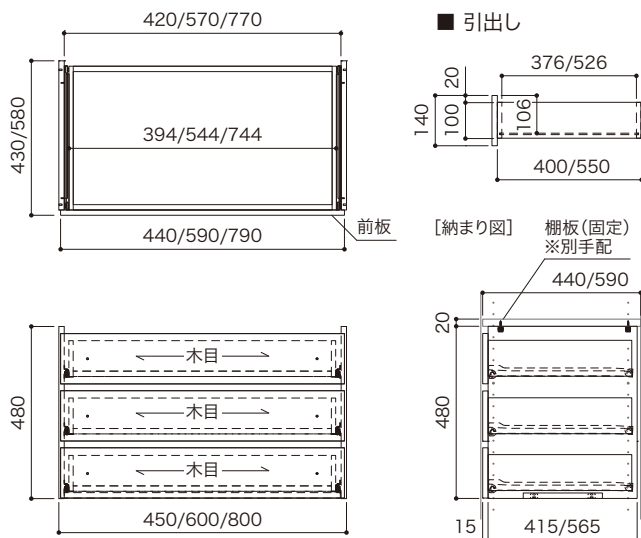
寸法単位:mm

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

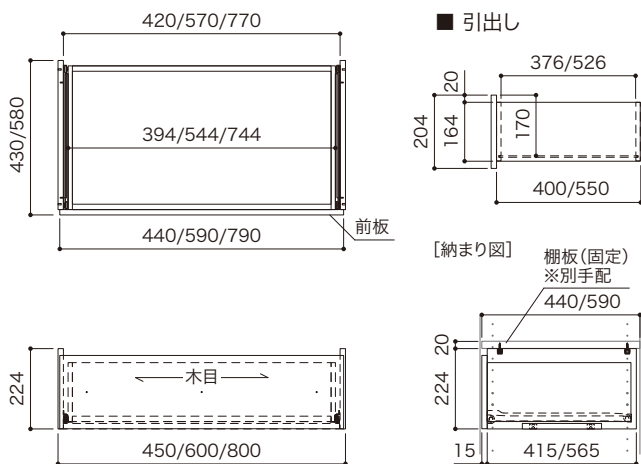
フレーム引出し2段



フレーム引出し3段

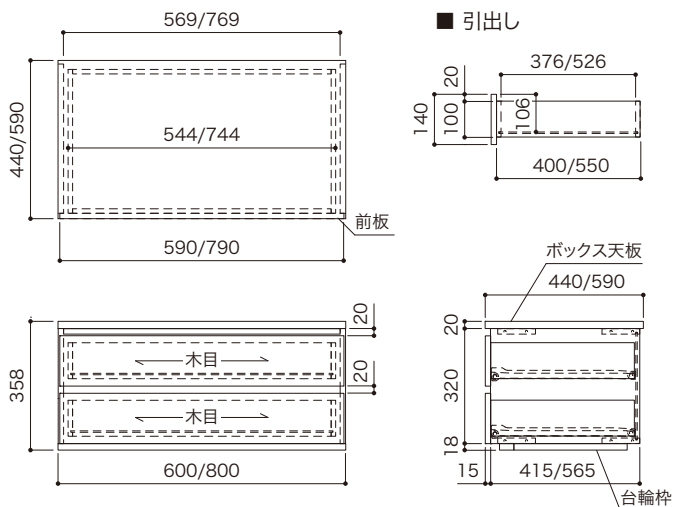


深型フレーム引出し1段

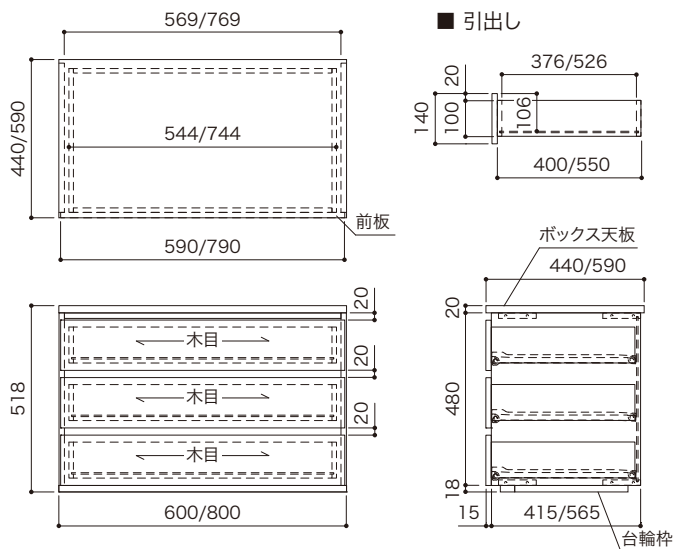


部品	パーツ/サイズ	ビスL=25	位置だしピン	連結板	ジョイント金具 シャフト
		2段	D4	14本	4本
	D6	18本	4本	1枚	4本
3段	D4	17本	4本	1枚	4本
	D6	21本	4本	1枚	4本
深型	D4	11本	4本	1枚	4本
	D6	15本	4本	1枚	4本

ボックス引出し2段



ボックス引出し3段



部品	木ダボL=20	サラビスL=30
		11本

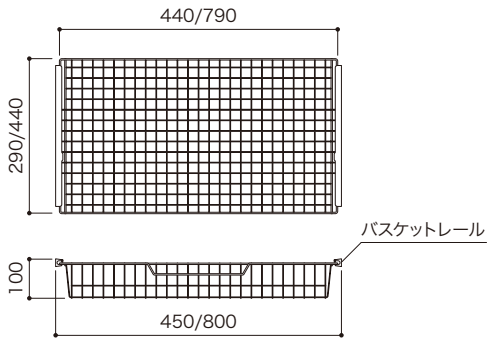
部品	木ダボL=20	サラビスL=30
		11本



製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

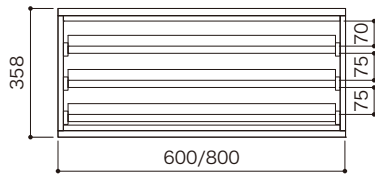
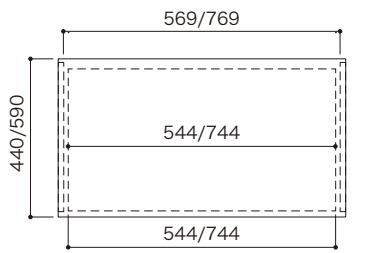
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。



バスケット

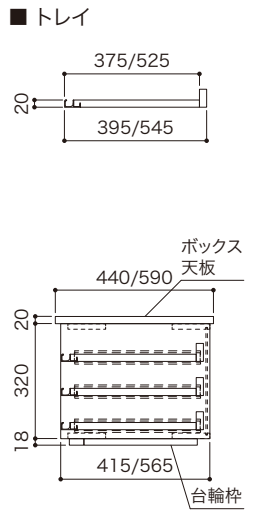


部品	バスケットレール	サラビスL=13
		
	左右各1本	4本

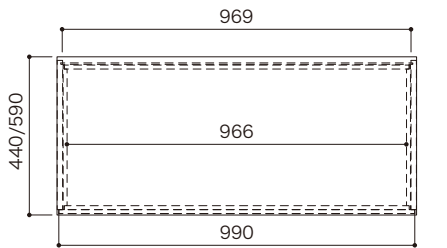
シャットレイ



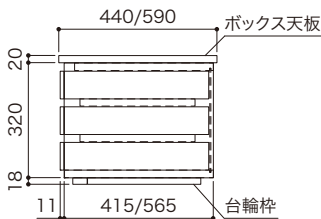
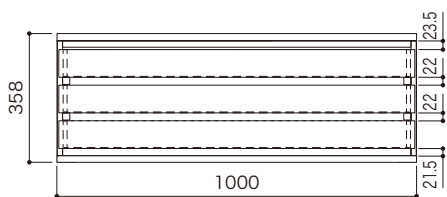
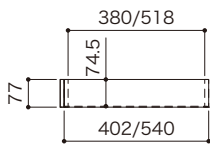
部品	木ダボL=20	サラビスL=30
		
	11本	10本





和盆

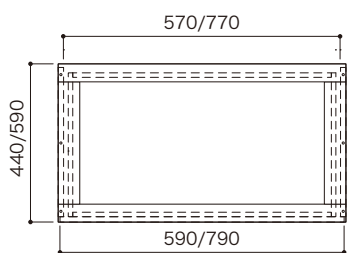


■ 引出し

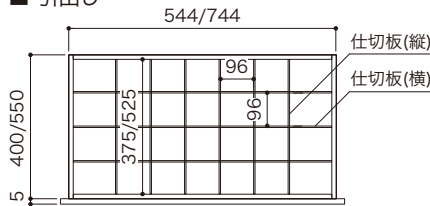


部品	木ダボL=20	サラビスL=30
		
	13本	10本

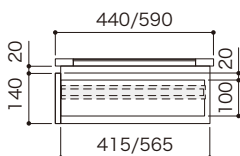
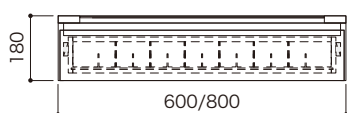
ギャラリーケース





■ 引出し



サイズ	仕切板枚数	
	縦	横
D4xW600	4	3
D4xW800	6	3
D6xW600	4	4
D6xW800	6	4



部品	サイズ	ビスL=25	位置だしピン
			
	D4	4本	4本
D6	6本	4本	

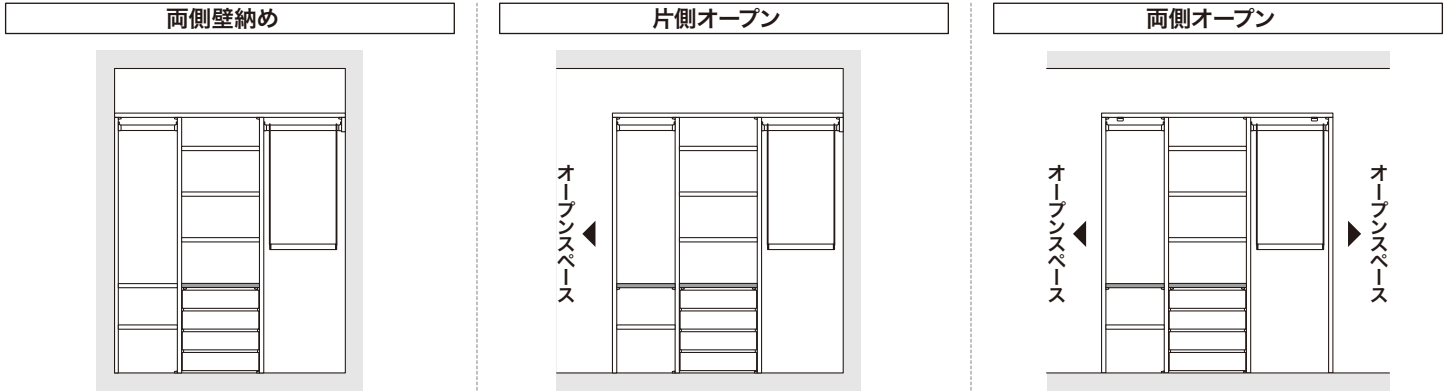
施工前の確認事項

寸法単位: mm

設置条件について

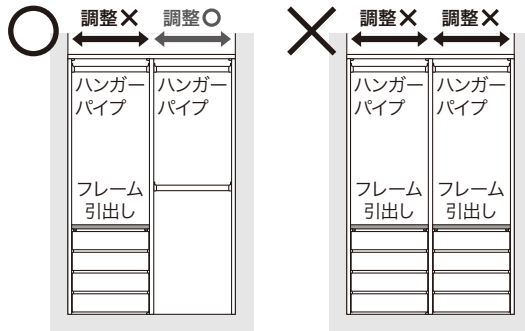
■:各棚板(固定) / □:各棚板(可動) / ▭:ハンガーパイプ

設置方法には **両側壁納め**・**片側オープン**・**両側オープン** の3パターンがあります。
プランによって、施工方法・条件が異なりますので、施工前に必ず、以下の説明をお読みください。



両側壁納めの場合

必ず1列以上の間口調整部が必要になります。すべての列に間口調整できないパーツ ※を設置することはできません。
※網棚、スラックスハンガー、フレーム引出し、バスケット、ギャラリーケースは間口調整部には設置できません。



両側オープンの場合

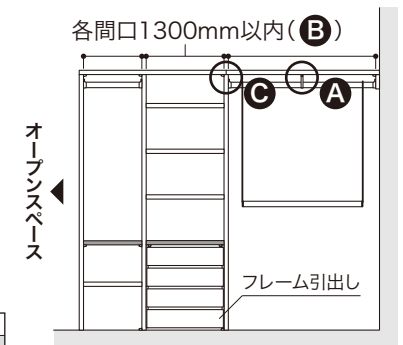
ショート仕切板を含むプランは両側オープンでの施工はできません。

天板・各側板・各仕切板について

- 各側板** 側板・ショート側板・エンド側板・ハーフエンド側板の4種類があります。
側板・ショート側板: 壁面へ取り付け / エンド側板・ハーフエンド側板: オープン側へ取り付け
- 各仕切板** 仕切板・ショート仕切板・ハーフ仕切板の3種類があります。

施工前に **製品図面 P1~2** を参照し、それぞれの用途に応じた施工を行なってください。
※ショート仕切板はオープン側に取り付けしないでください。
※ショート側板・ショート仕切板には、ハンガーパイプ以外のオプションパーツは設置できません。

- 1列の間口が1000mmを超える場合は天板下面と壁面を樹脂金具で固定してください。(右図 **A**)
- 1列の間口は1300mm以内で設計してください。1300mmを超える場合は、仕切板を追加設置してください。(右図 **B**)
- 天板を連結する場合、天板継ぎ目部分の下部を必ず仕切板で連結し、同梱の樹脂金具で天板と仕切板を固定してください。(右図 **C**)

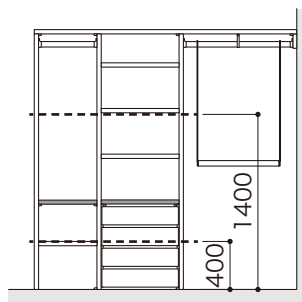


背板パネルを設置する場合

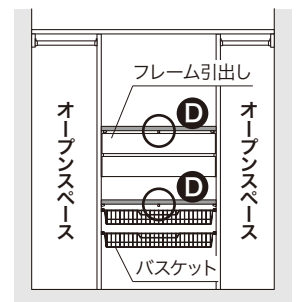
1列の間口は背板パネルの幅寸法以内で、設置場所の納まりやプランを考慮して設置してください。 ※背板パネルの木口が見える場合は隙間かかし材で納めます。

各棚板を設置する場合

- 片側(もしくは両側)にオープンスペースがある場合、棚板(固定)、網棚(固定)、フリーカット棚板(固定)を1列につき1枚以上設置してください。
- コーナー棚板を取り付ける場合は、1列につき必ず1箇所固定してください。コーナー棚板(可動)のみの構成は不可です。
- 設置高は床から各棚板上面まで400~1400mmの間です。お守りいただけない場合、全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。
- ハーフエンド側板を使用するプランの場合は、設置条件に関わらず、棚板(可動)のみの構成が可能です。
- フレーム引出しを取り付ける場合は、上段に必ず棚板(固定)を設置してください。複数設置する場合は最上段のみです。
- バスケットを取り付ける場合は、バスケット設置列に必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを床から400~1400mmの間に設置してください。



- 右記のプランの場合、**D**位置の棚板(固定)は、下地のある背壁面に固定してください。



各棚板について

各棚板 棚板/網棚/フリーカット棚板/コーナー棚板の4種類があります。

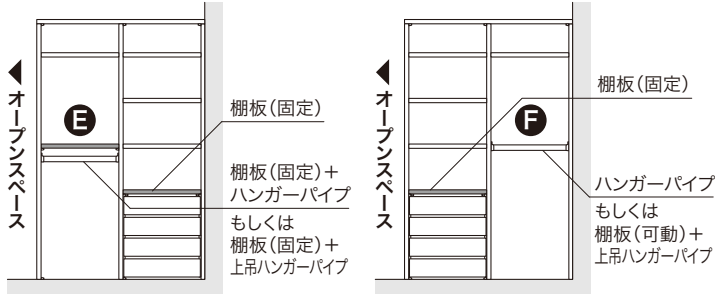
■:各棚板(固定) / □:各棚板(可動) / ≡:ハンガーパイプ

ハンガーパイプ・上吊ハンガーパイプを設置する場合

ハンガーパイプを列の中央部に設置する場合は、パイプ上部に強度確保のため棚板の固定が必要になります。(下図 E)

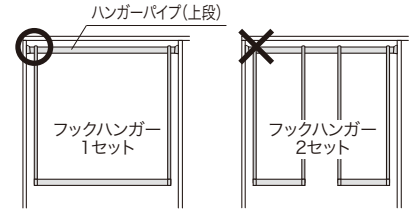
ただし、設置する列の両側が壁、または棚板(固定)・引出し類を設置する場合には、この棚板の設置は不要です。(下図 F)

棚板の設置高については、**施工前の確認事項 P8** 各棚板を設置する場合をご確認ください。また、これと同条件の場合、棚板(可動)+上吊ハンガーパイプの設置も可能です。

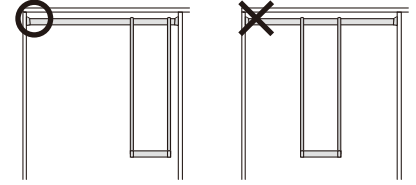


フックハンガーを設置する場合

●上段のハンガーパイプ
1本に対して1セットのフックハンガーを設置してください。
2セット以上を設置すると強度を保てない可能性があります。



●幅が狭いフックハンガーの場合、上段のハンガーパイプの端に設置してください。中央に設置すると上段のハンガーパイプがたわむおそれがあります。

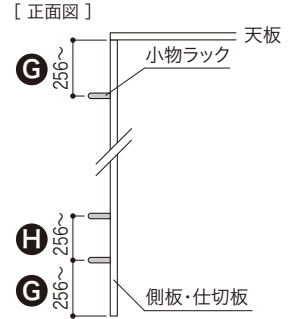


小物ラックを設置する場合

- 側板・仕切板の上下端から、256mm以上(ダボ穴8個分)空けて設置してください。(右図 G)
- 小物ラックを複数設置する場合は、上下で256mm以上(ダボ穴8個分)間隔を空けてください。(右図 H)
- 上記の条件を満たす場合、側板・仕切板1枚あたりに最大6本まで設置可能です。

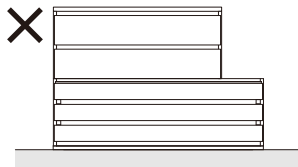
注意

- 壁納め側に取り付ける場合、壁に側板を固定する前に小物ラックを取り付ける必要があります。
- 側板・仕切板を挟んで固定するので、小物ラック設置位置の反対側のダボ穴は使用できません。プラスアップパーツを取り付ける際は、ご注意ください。

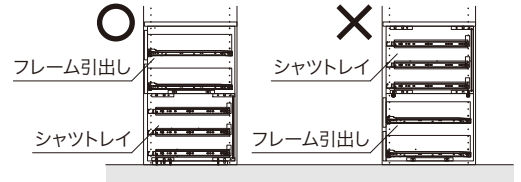


引出し類の組み合わせについて

●幅の異なるボックスタイプの引出しを重ねて設置することはできません。



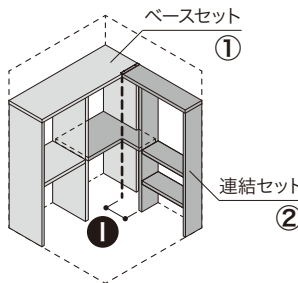
●フレーム引出しの上にボックスタイプの引出し(ボックス引出し・シャットレイ・和盆)は設置できません。



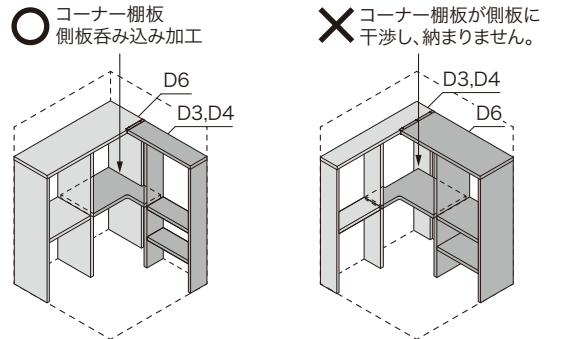
L型プラン・U型プランの施工について

●天板ジョイント部から②のエンド側板または仕切板までの幅(①)は250mm~1300mmにしてください。

●引出し・バスケット等、手前に引出すパーツを設置する際は、②のエンド側板または仕切板に干渉しないか引出し幅をご確認ください。



●奥行の異なるコーナー棚板は、勝ち負けがあります。設置方向が決まっていますのでご注意ください。



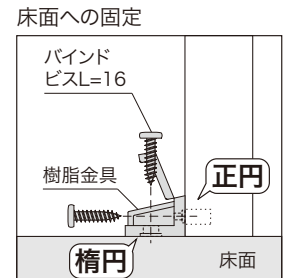
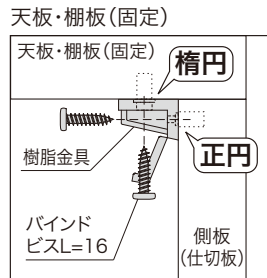
樹脂金具について

樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。

樹脂金具 **正円** → ダボ穴/側板・仕切板
樹脂金具 **楕円** → 下穴/天板・各棚板(固定)


注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。



躯体準備

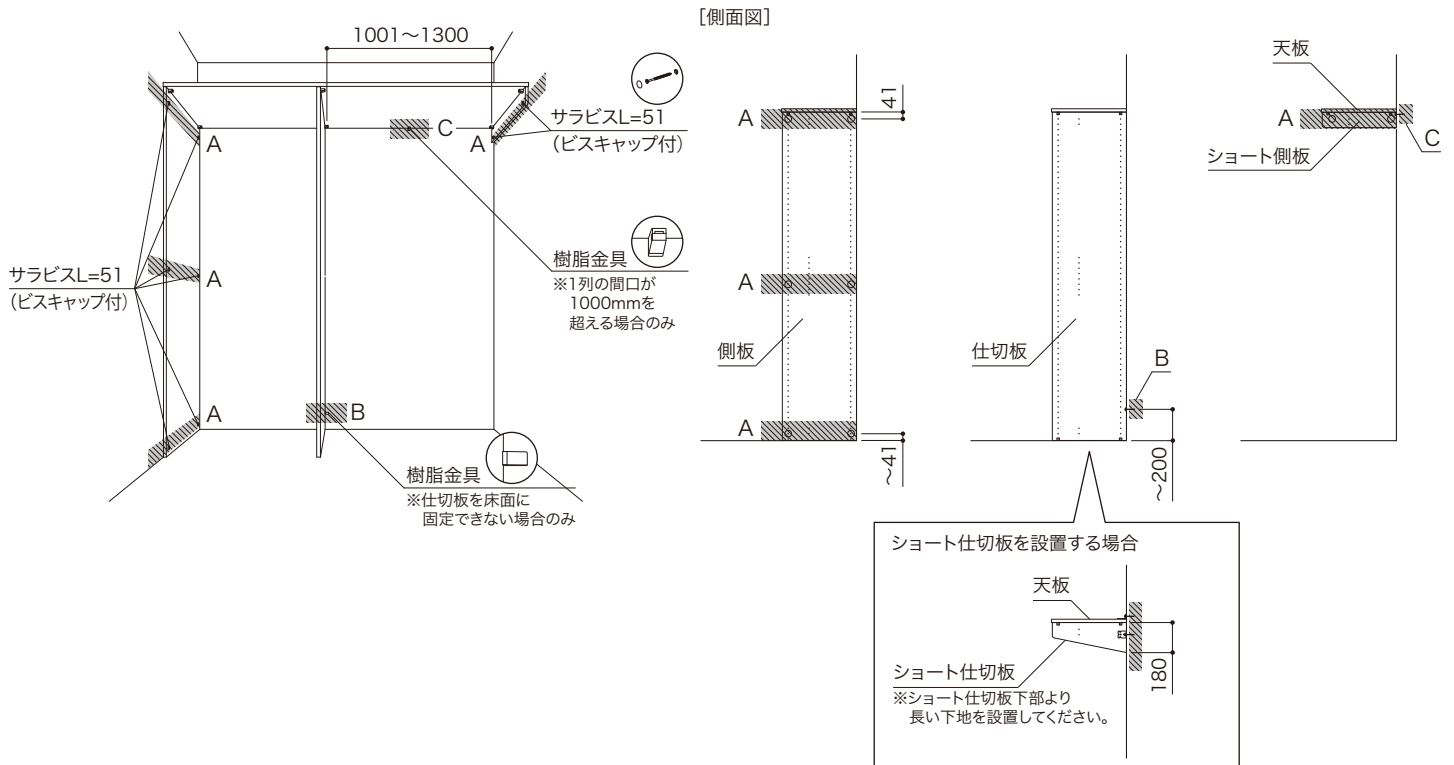
寸法単位:mm

- 施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 躯体の垂直・直角、床面の水平が取れていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。
- 床面にバインドビスL=16で固定するため12mm厚以上のフローリングなどを用いて施工を行なってください。
- 本製品は以下の場所(図中 ) に下地補強が必要です。それぞれビス取り付け位置に補強桧木や12mm厚の合板(現場調達)を設置してください。

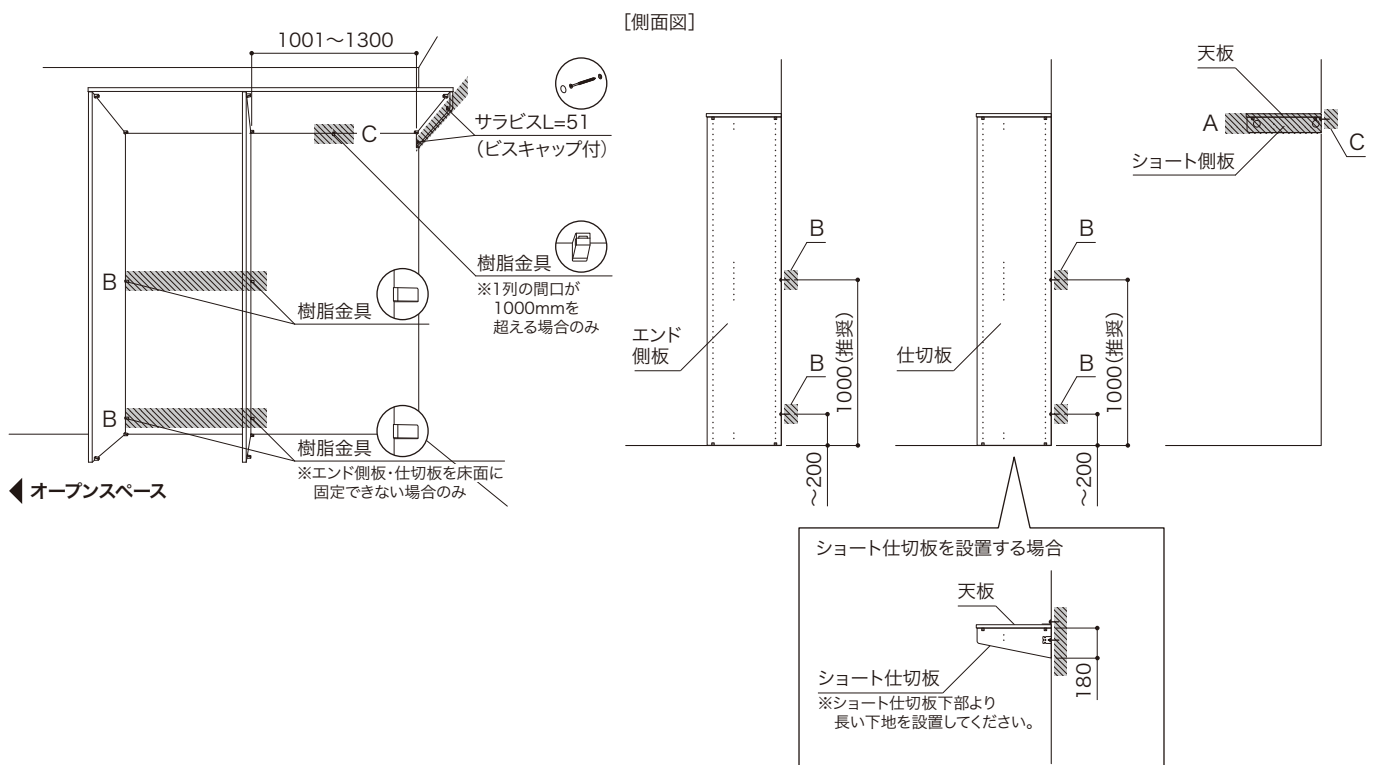
注意

本体は必ず壁面・床面、または下地補強済みの躯体に固定してください。壁面の下地処理が不十分だと転倒・脱落の原因となります。

両側壁納め



片側オープン



※上図は説明のため、躯体への固定が必要となるパーツのみを表示しています。 ※上図の寸法は高さ方向のカットがない場合の数値です。

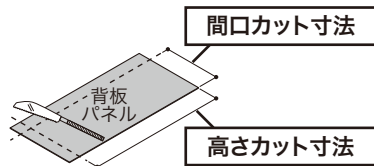
施工手順

寸法単位:mm

1 背板パネルの取り付け (背板パネルを取り付ける場合のみ)

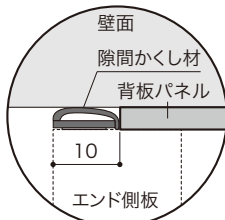
1 背板パネルの加工

設置場所の納まりやプランをご確認のうえ、右図を参考に背板パネルをカットしてください。



間口カット寸法:下図を参考にカットしてください。

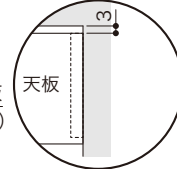
エンド側板の芯で納めます。
※背板パネルの木口が見える場合は下図のように隙間かくし材で納めます。



仕切板の芯で納めます。

側壁の端に背板パネルを突き付けて納めます。

※背板パネルを設置しない列がある場合、天板は背壁から3mm間隔が空きます。

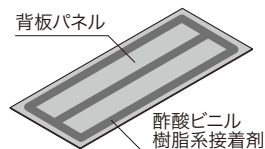


2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背板パネルの取り付け位置を墨出しします。

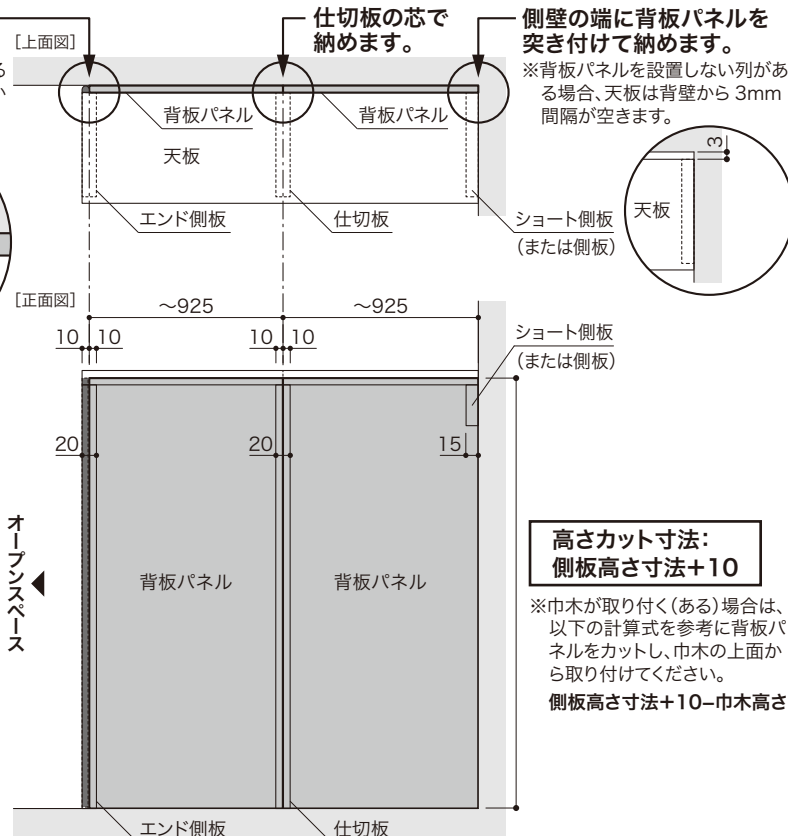
3 背板パネルの貼り付け

酢酸ビニル樹脂系接着剤+フィニッシュネイルまたは隠し釘(現場調達)で壁面へ背板パネルを固定してください。



ご注意

背板パネルを取り付ける場合は、クロスを貼らずに石膏ボード仕上げの上に取り付けてください。



高さカット寸法:
側板高さ寸法+10

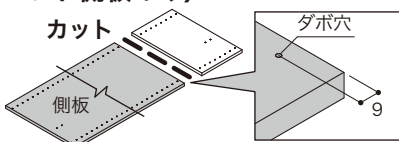
※巾木が取り付け(ある)場合は、以下の計算式を参考に背板パネルをカットし、巾木の上面から取り付けてください。
側板高さ寸法+10-巾木高さ

2 各側板の取り付け

側板・ショート側板は壁側、エンド側板・ハーフエンド側板はオープン側に取り付けてください。

カットする場合(側板・エンド側板のみ)

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。



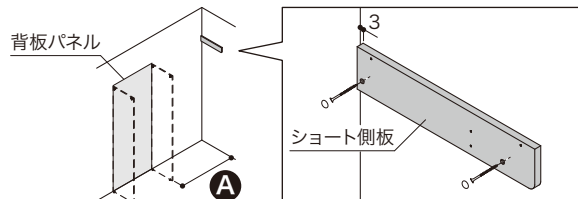
ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。
反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



背板パネルを含むプランの場合

背板パネルを取り付けない列(下図A)がある場合は背壁から3mm間隔をあけて取り付けてください。

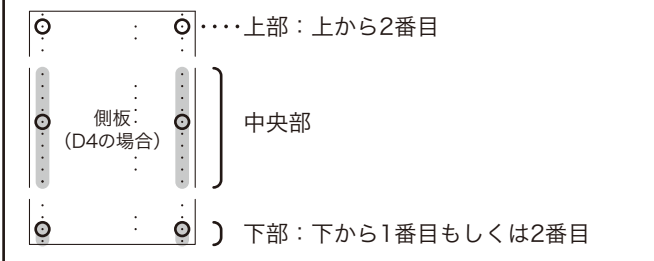


※図はショート側板を記載していますが、その他の側板・仕切板も同様に施工してください。

側板 (両側壁納め・片側オープン)

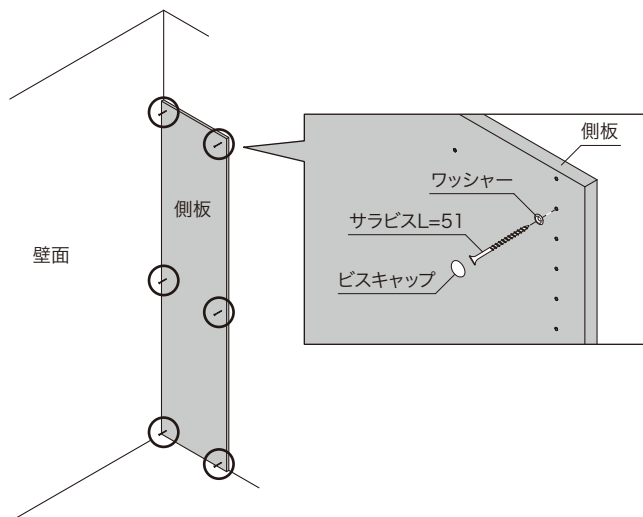
側板を躯体にサラビスL=51(ビスキャップ付)で固定してください。

ビス固定位置:D3・D4・D6・・・前後2箇所×上部・中央部・下部



ご注意

- サラビスL=51を取り付けるダボ穴は、他の部材の固定などに使用しないダボ穴を選んでください。
- 必ず下地のある位置で固定してください。



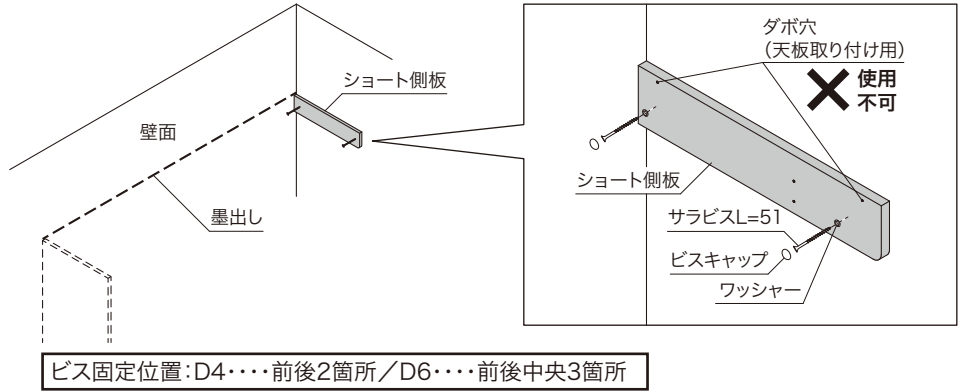
施工手順

ショート側板 (両側壁納め ・ 片側オープン)

左右が水平になるように取り付け位置を墨出しし、ショート側板を躯体にサラビスL=51 (ビスキャップ付) で固定してください。

注意

- ショート側板にはサラビスL=51 取り付け用のダボ穴がありません。**天板取り付け用のダボ穴(右図参照)を使用しないようご注意ください。**
- 必ず下地のある位置で固定してください。



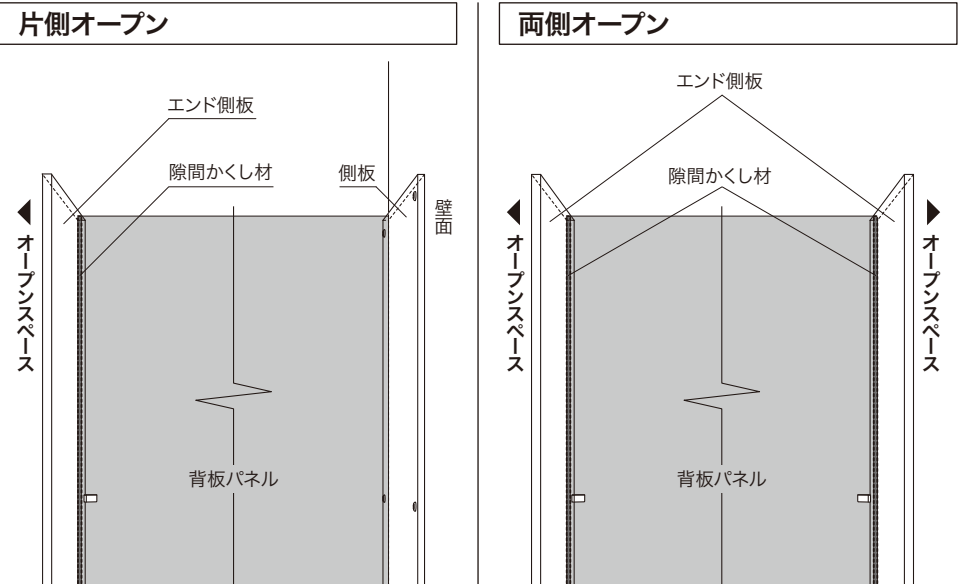
エンド側板 (片側オープン ・ 両側オープン)

1 隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合)

エンド側板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置するエンド側板の指定位置へ貼り付けます。

注意

隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



2 エンド側板の取り付け

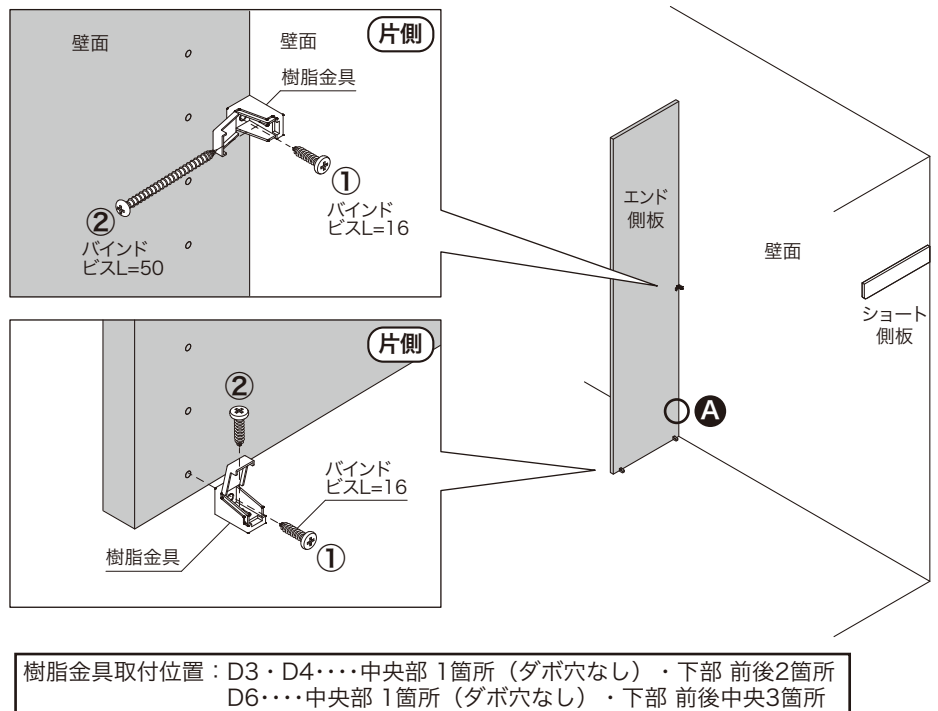
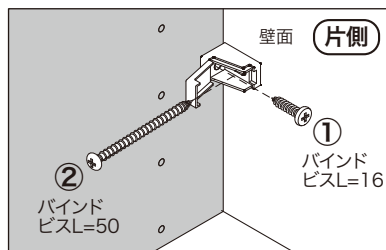
エンド側板の取り付け位置を墨出しし、背壁面・床面を壁面に樹脂金具を使って固定してください。エンド側板は、**片面のみの固定**となります。同梱されているエッジテープは天板の木口部分に貼ってください。

注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。

床面にビス打ちできない場合

床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具でエンド側板を固定してください。(右図 A)



樹脂金具取付位置: D3・D4...中央部 1箇所 (ダボ穴なし) ・下部 前後2箇所
D6...中央部 1箇所 (ダボ穴なし) ・下部 前後中央3箇所

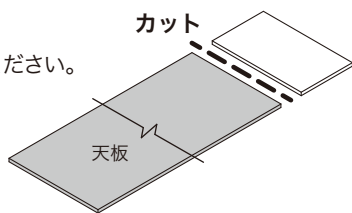
施工手順

寸法単位:mm

3 天板の取り付け

●カットする場合

設置位置の寸法にカットしてください。



☞注意

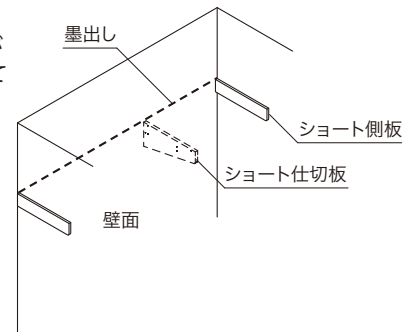
必ずエッジテープ側から
カットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



●墨出し(ショート仕切板を取り付ける場合のみ)

天板設置前にショート仕切板の
取り付け位置を墨出しし、天板が
水平になるように施工を行なって
ください。

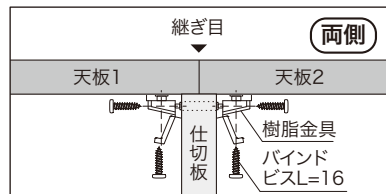


1 天板の取り付け

天板を側板上部両端にあるダボ穴に樹脂金具
を使って固定してください。

天板を連結する場合

2枚目の天板を図のように仕切板上部で連
結し、両側を樹脂金具で固定してください。

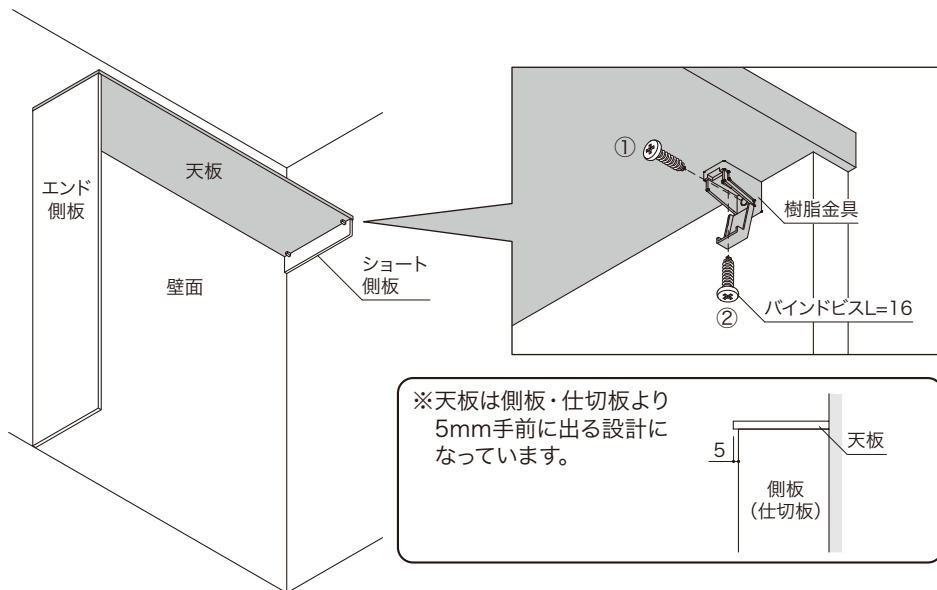
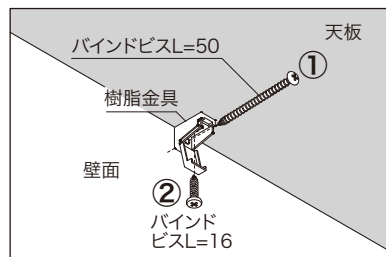


1列の間口が1000mmを超える場合

天板下面を間柱もしくは補強桱木のある壁
面に樹脂金具で固定してください。

☞注意

壁面は必ず下地のある位置で固定
してください。



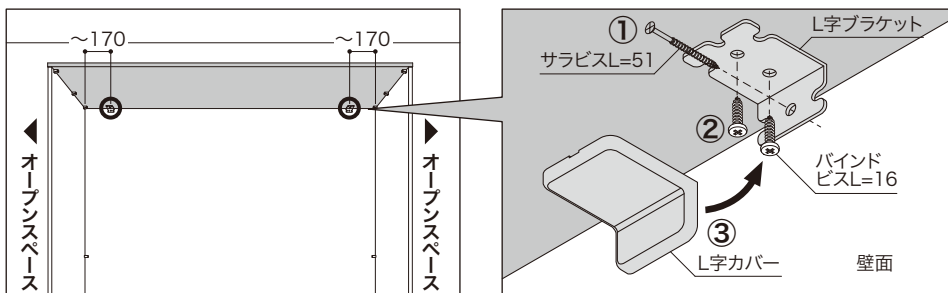
※天板は側板・仕切板より
5mm手前が出る設計に
なっています。



樹脂金具固定位置: D3・D4・・・前後2箇所 / D6・・・前後中央3箇所

2 天板を背壁へ固定 (両側オープン の場合のみ)

両側オープン施工用金具セットを使用して
右図のように固定してください。



施工手順

寸法単位:mm

4 各仕切板の取り付け

仕切板

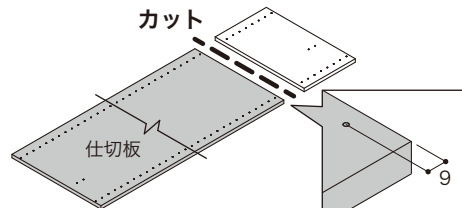
カットする場合

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

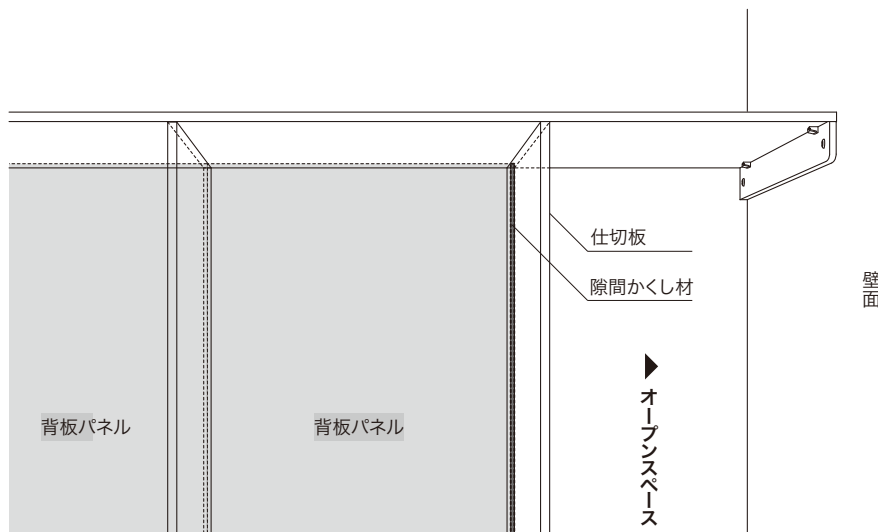


1 隙間かくし材の貼り付け (背板パネルを設置する場合 ※オープンスペースを設ける場合のみ)

仕切板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置する仕切板の指定位置へ貼り付けます。

注意

隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



2 仕切板の取り付け

仕切板の取り付け位置を列の間口寸法にあわせて墨出しし、天板と壁面に樹脂金具を使って固定してください。

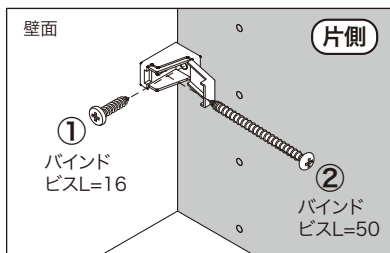
仕切板は、片面のみの固定となります。

注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。

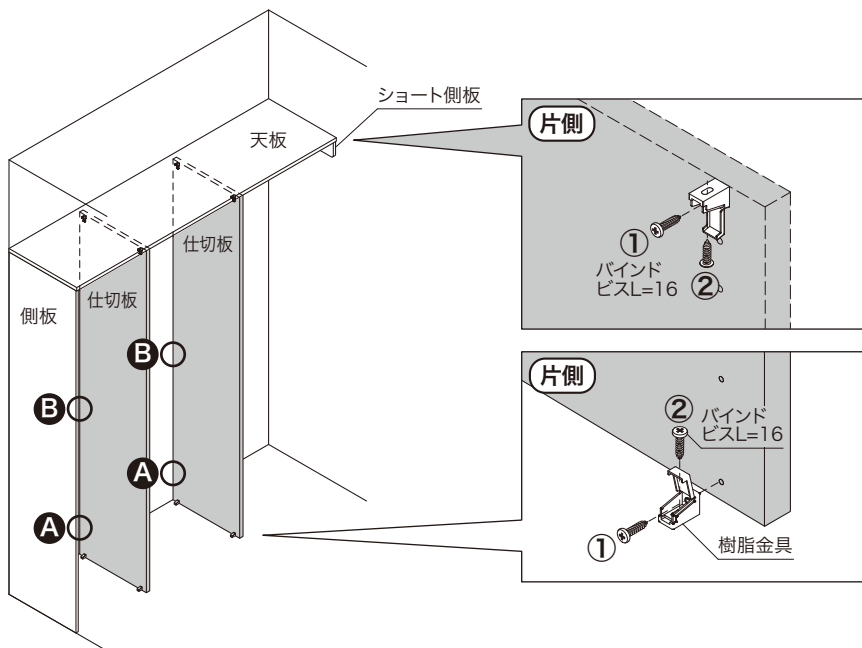
片側オープン・両側オープンの場合

床面から約1000mmの下地補強のある位置に樹脂金具で仕切板を固定してください。(右図B)



床面にビス打ちできない場合

床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具で仕切板を固定してください。(右図A)



樹脂金具取付位置: D3・D4・・・前後2箇所×上部・下部
D6・・・前後中央3箇所×上部・下部
片側オープン・両側オープンの場合
D3・D4・D6・・・中央部1箇所(ダボ穴なし)

施工手順

寸法単位:mm

ショート仕切板

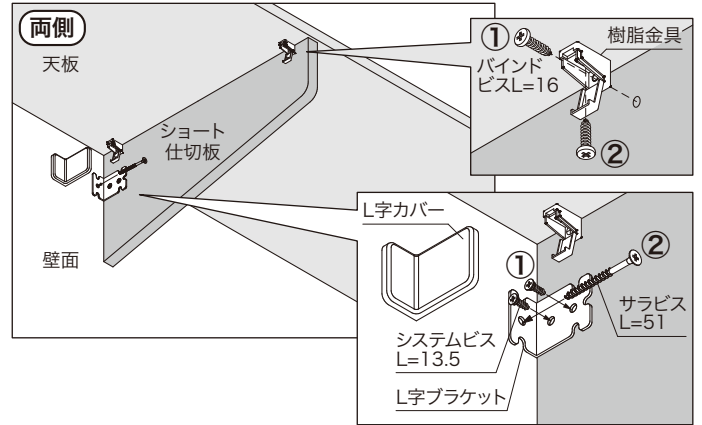
1 天板下部の固定

2で墨出した位置へ壁面にL字ブラケット、天板に樹脂金具にて固定してください。ショート仕切板は、**両面固定**となります。

樹脂金具固定位置:D4・・・両面 前後4箇所
D6・・・両面 前後中央6箇所
L字ブラケット固定位置(天板下部):D4・D6・・・両面 2箇所

ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。

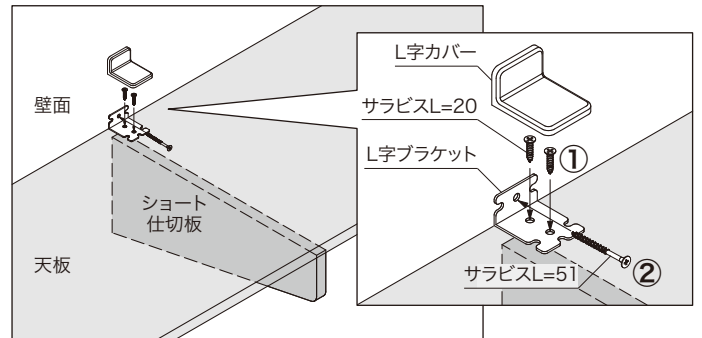


2 天板上部の固定

L字ブラケットで背壁に固定してください。

ご注意

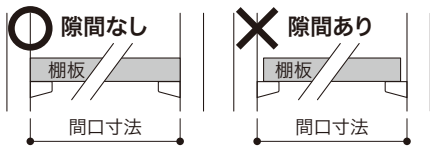
壁面は必ず下地のある位置で固定してください。



5 各棚板(固定)の取り付け

カットする場合(棚板・フリーカット棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。
※フリーカット棚板は補強棧も同じ寸法にカットしてください。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。

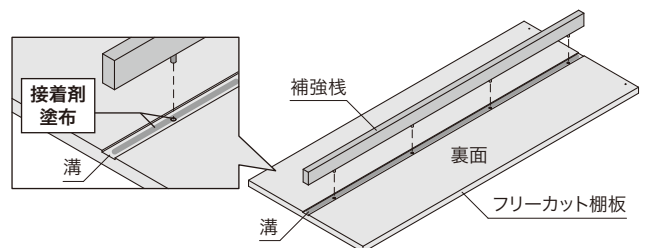


1 取り付け前の準備(フリーカット棚板のみ)

棚板裏面の溝部分とダボ穴に酢酸ビニル樹脂系接着剤(現場調達)を塗布し、補強棧を固定後、接着剤がなじむように圧着してください。

ご注意

- 補強棧が棚板からはみ出さないよう注意してください。
- 組み立てには必ず当て木を使用してください。
- 最低24時間静置・養生してください。



施工手順

2 棚板の固定

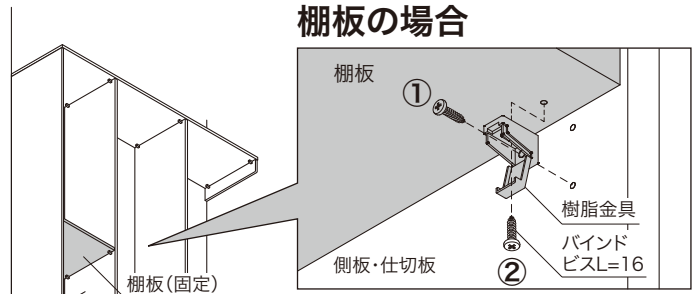
各棚板と側板・仕切板のダボ穴を樹脂金具を使って右図のように固定してください。

ご注意

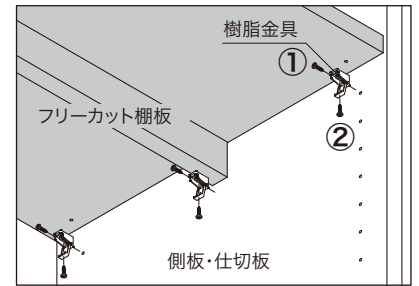
- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

樹脂金具固定位置

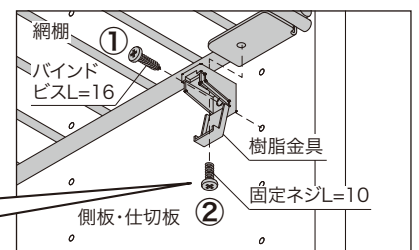
棚板・網棚	D3・D4: 前後2箇所×左右 D6 : 前後中央3箇所×左右 ※D6のプランに棚板(D3)を取り付ける場合は、側板・仕切板の中央と後ろのダボ穴を使用してください。
フリーカット棚板	前後、補強棧下部3箇所×左右 (補強棧下部 下穴なし)



フリーカット棚板の場合



網棚の場合



ご注意

電動式ドライバー使用禁止

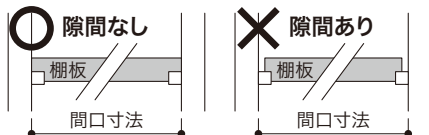


6 各棚板(可動)の取り付け

躯体の垂直・直角、床面の水平がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

カットする場合(棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。

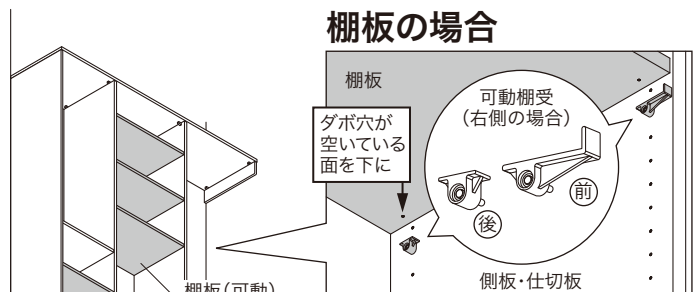


可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込み、各棚板をのせてください。
※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

ご注意

- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

可動棚受金具取付位置: D3・D4・・・前後2箇所×左右
D6・・・前後中央3箇所×左右



網棚の場合



7 ハンガーパイプの取り付け

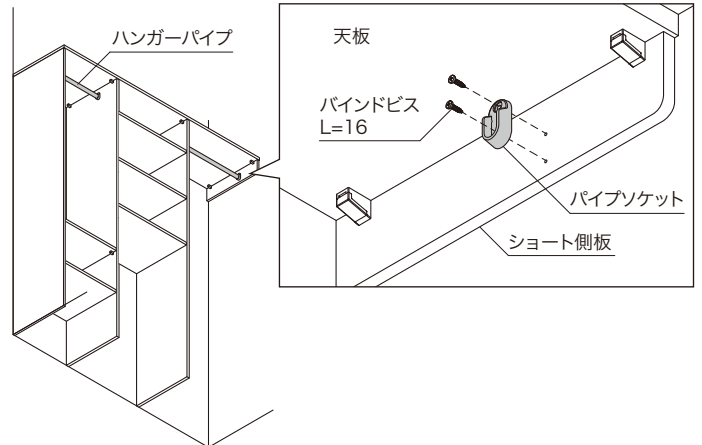
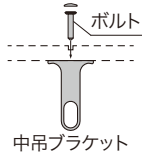
設置位置詳細: **設置位置イメージ P27**

1 パイプソケットの取り付け

側板・仕切板のダボ穴にバインドビスL=16で固定してください。

ハンガーパイプを設置する列の間口が900mmを超える場合

中吊ブラケットでの補強が必要です。
中吊ブラケット取り付け位置に7mmの下穴をあけ、上からボルトで固定してください。
その後、ビスキャップを取り付けてください。

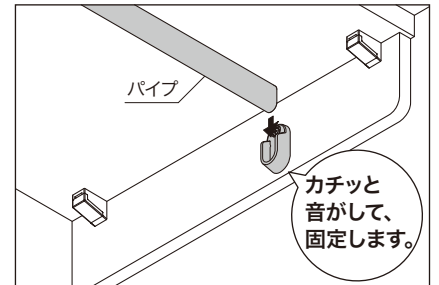


2 パイプの取り付け

取り付ける列の間口寸法からソケット厚(両側あわせて15mm)を差し引いた寸法にパイプをカットし、パイプソケットに取り付けてください。

ご注意

パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

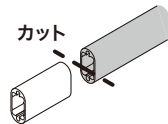


8 フックハンガーの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ P27**

カットする場合

パイプを現場の寸法に合わせてカットします。



ご注意

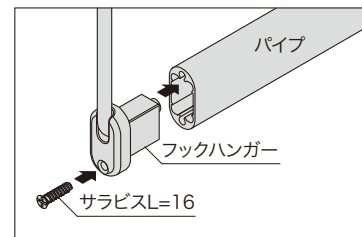
パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。
また、カットした後、断面の鋭利な部分はヤスリなどで取り除いてください。

1 フックハンガーの組み立て

パイプにフックハンガー部を差し込み、サラビスL=16で固定してください。

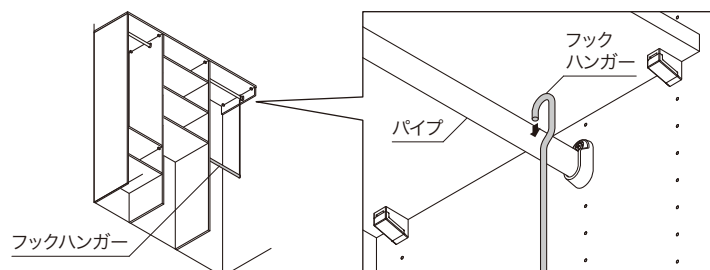
ご注意

- ネジの締め過ぎにご注意ください。
- 電動式ドライバー使用禁止



2 フックハンガーの取り付け

フックハンガーを上側のハンガーパイプに掛けてください。



施工手順

寸法単位:mm

9 上吊ハンガーパイプの取り付け

ご注意

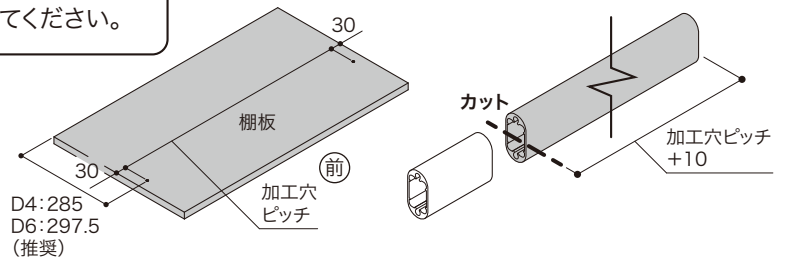
上吊ハンガーパイプは必ず木質の棚板(D4,D6)に取り付けてください。

1 下穴加工

右図を参考に、両端ブラケットの取り付け位置に7mmのキリで下穴を開けます。棚板の間口をカットした場合は、パイプも右図を参考に加工穴ピッチ+10mmになるようカットしてください。

ご注意

パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

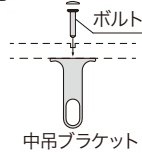


2 パイプの取り付け

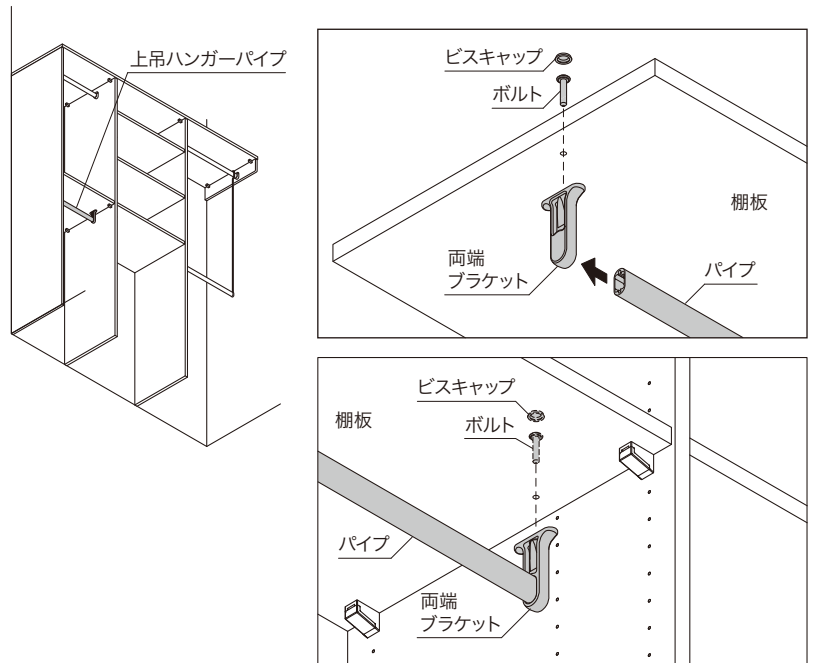
下穴に向かって両端ブラケットを取り付け、棚板上部からボルトで固定します。その後、パイプを両端ブラケットに差し込みます。

上吊ハンガーパイプを設置する列の間口が900mmを超える場合

中吊ブラケットでの補強が必要です。中吊ブラケット取り付け位置に7mmの下穴をあけ、上からボルトで固定してください。その後、ビスキャップを取り付けてください。



もう片方の両端ブラケットをパイプへ差し込み、棚板上部からボルトで固定します。



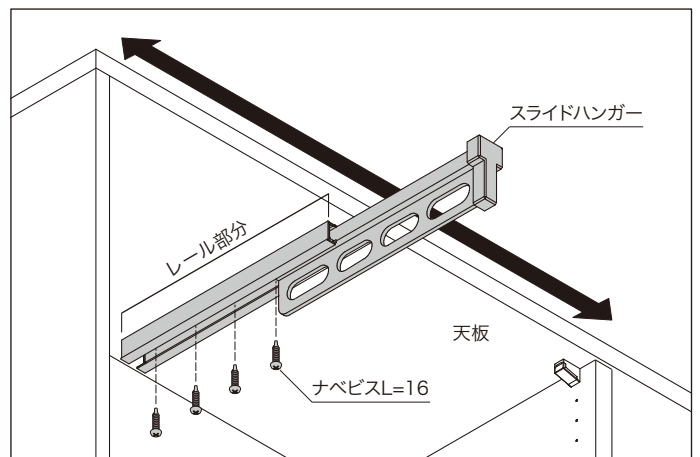
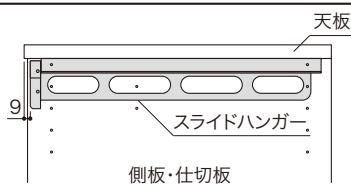
10 スライドハンガーの取り付け

ハンガー部分を最大限に引き出し、レール部分を4箇所、天板にナベビスL=16で固定します。

ご注意

- 設置には600mm以上の間口が必要です。
- 列の間口のセンターに施工してください。
- 各棚板(可動)、網棚には取り付けできません。

天板前面から9mm程度あけて壁面と直角になるように取り付けてください。



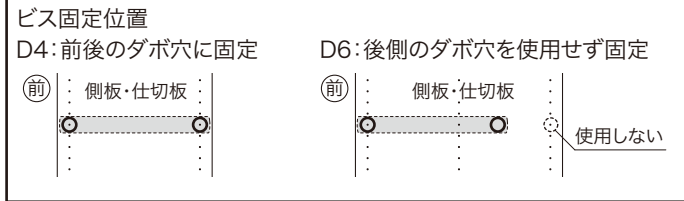
施工手順

寸法単位:mm

11 ネクタイハンガーの取り付け

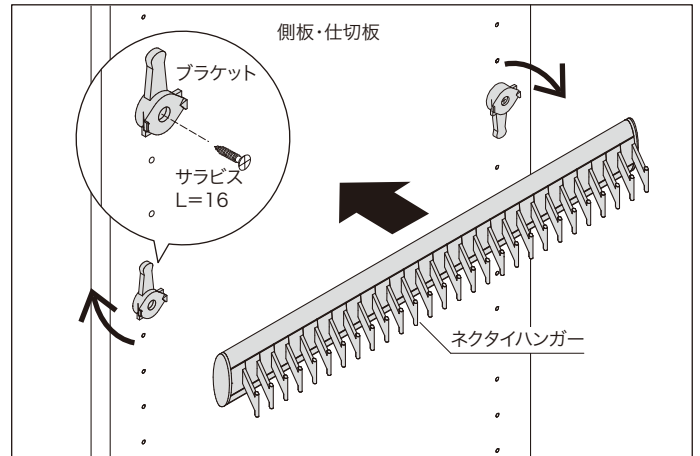
1 ブラケットの取り付け

ブラケットをサラビスL=16で側板・仕切板に向かって取り付けてください。



2 ネクタイハンガーの取り付け

ネクタイハンガーをブラケットを時計廻りに90°まわしながら押し付けてはめ込んでください。



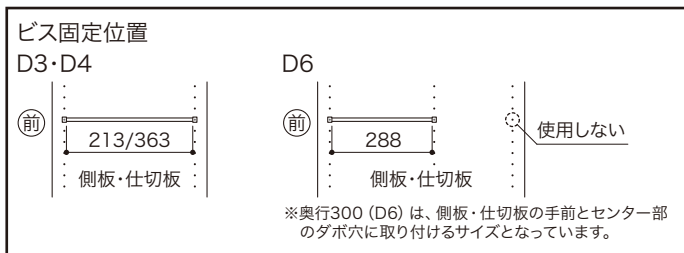
12 小物ラックの取り付け

1 ダボ穴加工(側板に取り付ける場合のみ)

ブラケットの取り付け位置のダボ穴をに5mmのキリで貫通してください。

2 パイプの取り付け

ブラケットを側板・仕切板を挟んで反対側から固定ネジで固定します。その後、パイプをブラケットに差し込みます。次に、もう片方のブラケットをパイプへ差し込み、側板・仕切板を挟んで反対側から固定ネジで固定します。

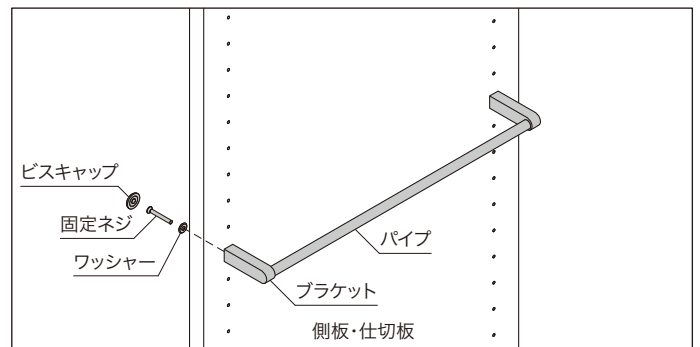
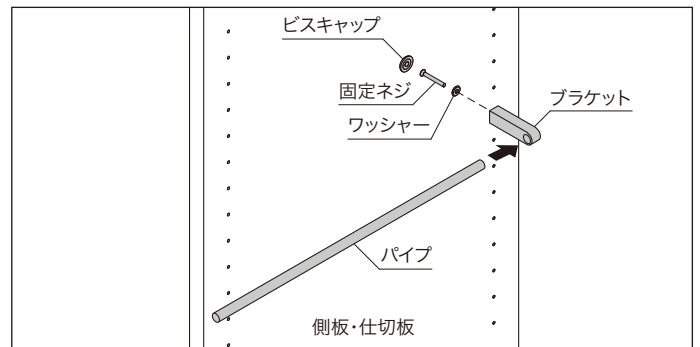
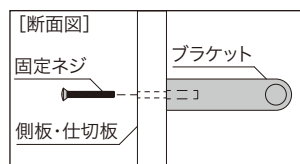


注意

●電動式ドライバー使用禁止



●小物ラックを壁納め側に設置する場合、ビスキャップ・ワッシャーは不要です。ビスが飛び出さないようにご注意ください。



施工手順

寸法単位:mm

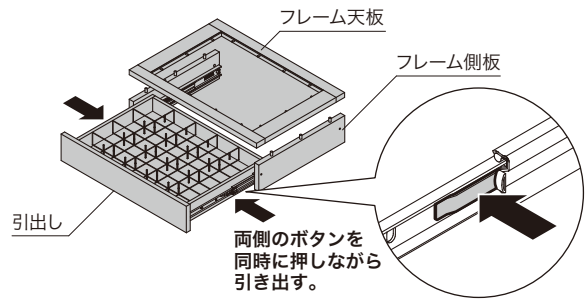
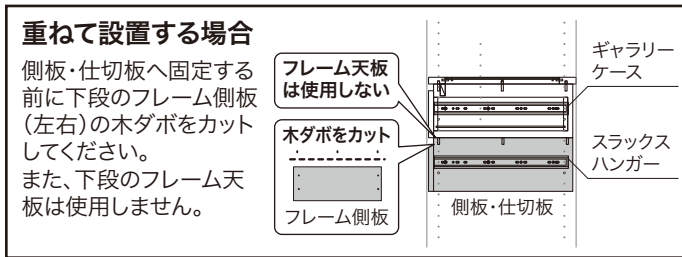
13 ギャラリーケース、スラックスハンガーの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ P29**

※図はギャラリーケースで説明していますが、スラックスハンガーも同様に施工してください。

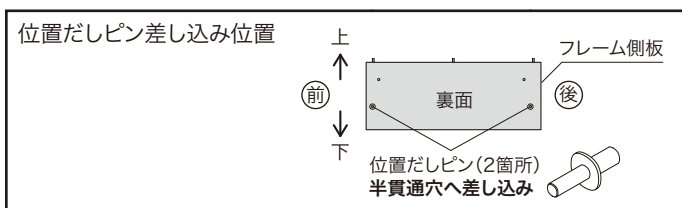
1 取り付け前の準備

引出し部分を抜き出し、フレームを側板部分と天板部分に分けます。



2 フレーム側板の取り付け

位置だしピンを図のように差し込み、フレーム側板の位置を決めます。

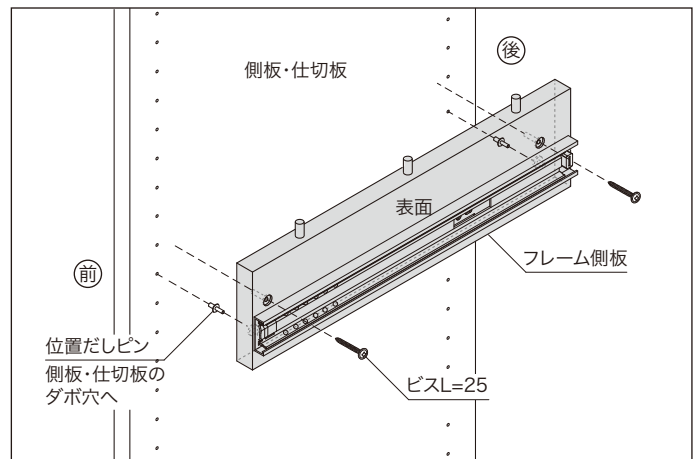


その後、フレーム側板表面の貫通穴からビスL=25で固定します。

ビス固定位置:D4・・・前後2箇所/D6・・・前後中央3箇所

注意

- 重ねて取り付ける場合は下段から順に施工してください。
- フレーム側板は左用・右用があります。間違いのないように注意してください。

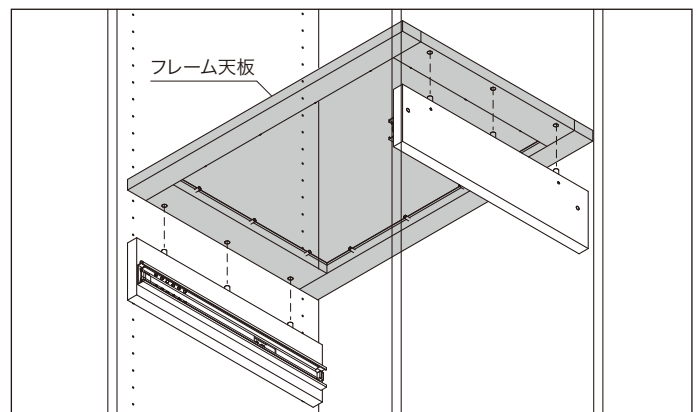


3 フレーム天板の固定

フレーム天板のダボ穴に酢酸ビニル樹脂系接着剤(現場調達)を塗布し、フレーム側板へ固定後、接着剤がなじむように圧着してください。

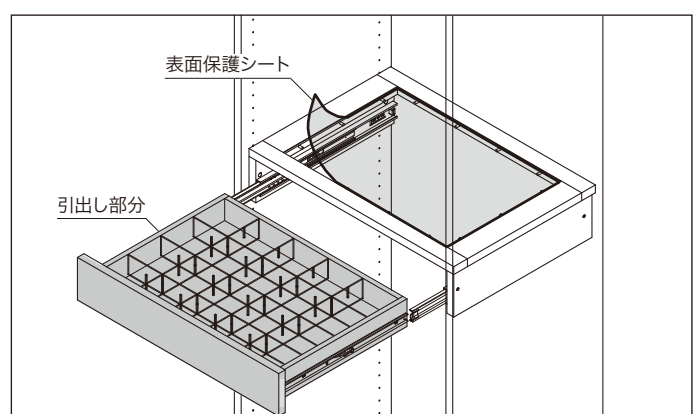
注意

- 組み立てには必ず当て木を使用してください。
- 最低24時間静置・養生してください。



4 引出しの差し込み

引出し部分を差し込み、透明パネルの表面保護シートを剥がしてください。



施工手順

寸法単位:mm

14 フレーム引出しの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ P28**

※図はフレーム引出し2段を設置する例で説明しています。フレーム引出し3段、深型フレーム引出し1段も同様に施工してください。

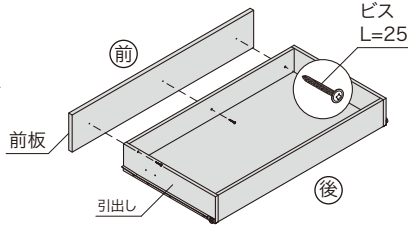
ご注意

フレーム引出しの上には必ず棚板(固定)を取り付けてください。複数設置する場合は、最上段のみです。

1 各パーツの準備

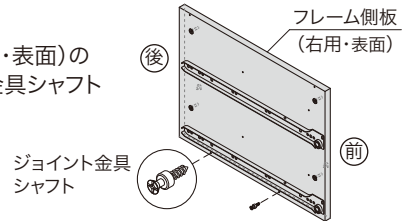
[引出し]

引出しの内側から前板の下穴に向かってビスL=25で取り付けます。



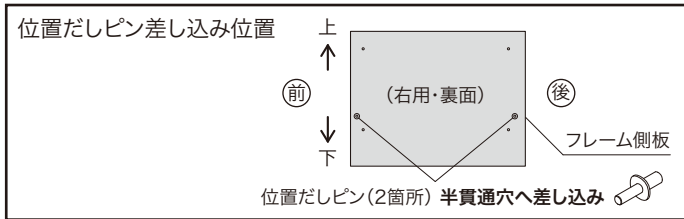
[フレーム側板]

フレーム側板(左右・表面)の下穴にジョイント金具シャフトを取り付けます。



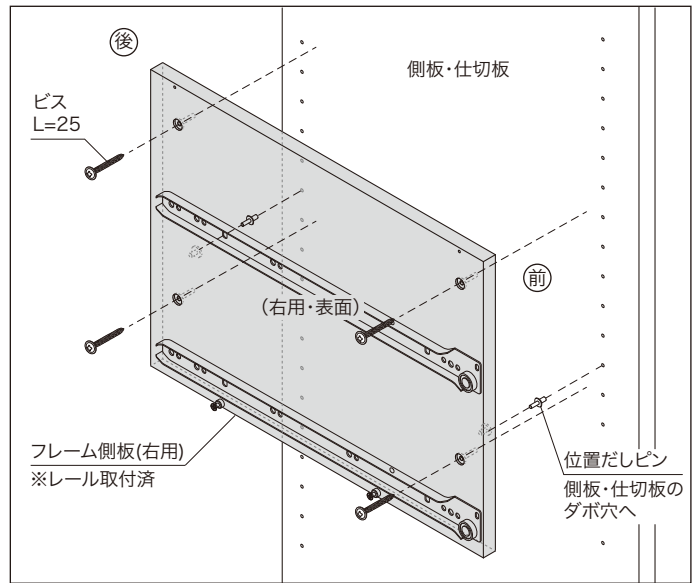
2 フレーム側板の取り付け

位置だしピンを図のように差し込み、フレーム側板の位置を出します。



その後、フレーム側板表面の貫通穴からビスL=25で固定します。

ビス固定位置: D4・・・前後2箇所×上部・下部
D6・・・前後中央3箇所×上部・下部

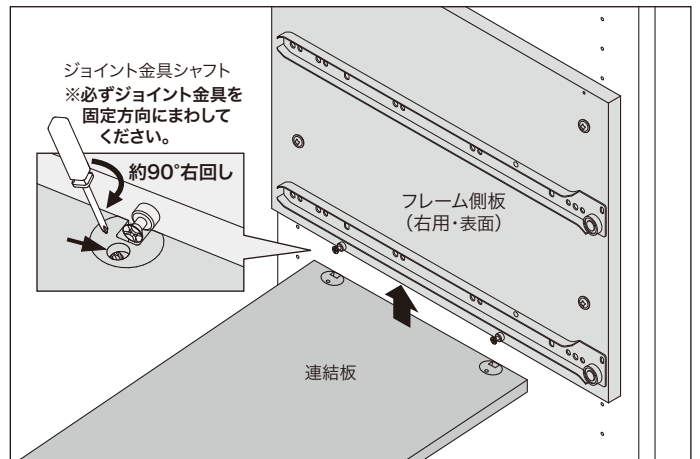
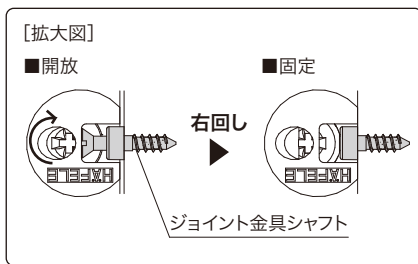


ご注意

- 複数取り付ける場合は下段から順に施工してください。
- フレーム側板は左用・右用があります。間違いのないように注意してください。

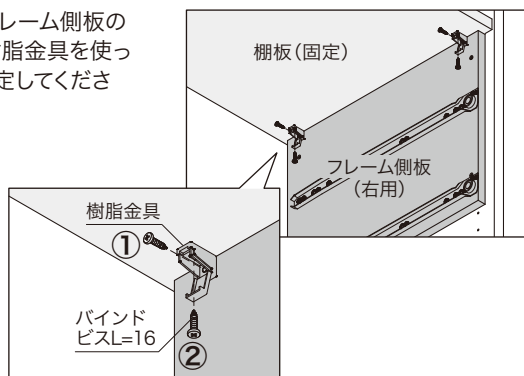
3 フレーム側板へ連結板の取り付け

連結板を下から入れ、ドライバーでジョイント金具シャフトと接続します。



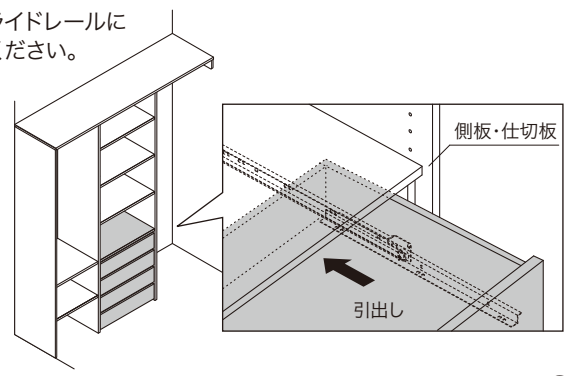
4 棚板の取り付け

棚板(固定)とフレーム側板の上端の下穴に樹脂金具を使って図のように固定してください。



5 引出しの差し込み

引出しをスライドレールに差し込んでください。



15 ボックス引出し、シャットレイの組立て

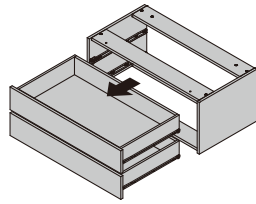
設置位置詳細: **設置位置イメージ P29**

ボックス引出し、シャットレイは側板、仕切板に固定する必要はありません。独立した収納ボックスとして設置してください。

1 各パーツの準備

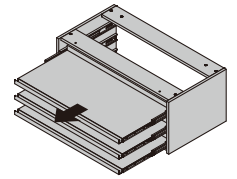
[ボックス引出し]

ボックス引出しは組立て前に引出し部分を抜き出してください。



[シャットレイ]

シャットレイはトレイ部分を引き出してください。



2 台輪枠の取り付け

ボックス底面のダボ穴に木ダボを取り付けた後、台輪枠と連結します。さらにサラビスL=30で固定してください。

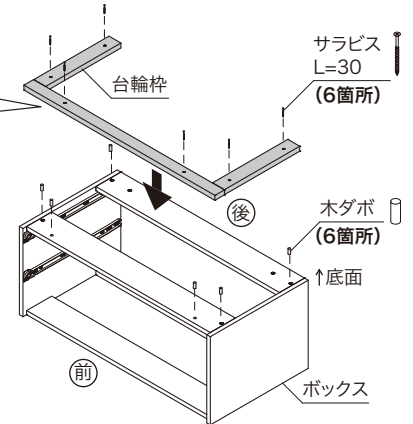
※図はボックス引出し2段で説明していますが、ボックス引出し3段、シャットレイも同様に施工してください。

注意

この時、床面に傷を付けないよう、ビス頭のはみ出しに注意してください。



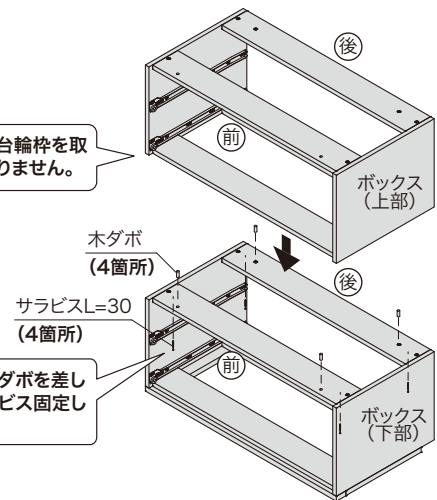
台輪枠はエッジテープ面が外向きになるように取り付けてください。



ボックスを連結する場合

ボックス上部にあいている連結穴に付属の木ダボを差し込んだ後、サラビスL=30で固定し、2個目のボックスの底面と連結してください。

上部のボックスは台輪枠を取り付ける必要はありません。

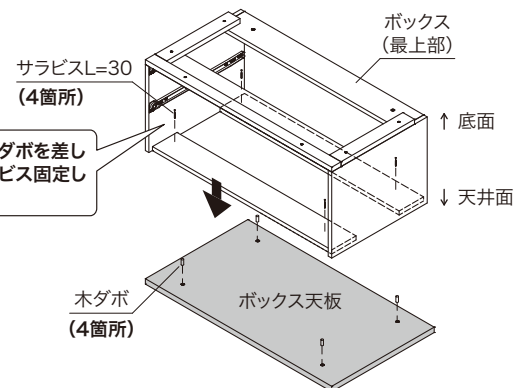


下穴がないので木ダボを差し込んだ位置付近にビス固定してください。

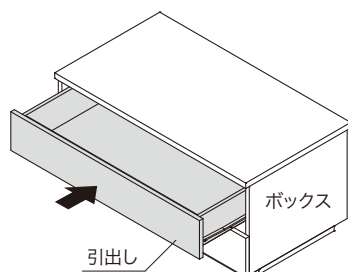
3 ボックス天板の取り付け

ボックス天板のダボ穴に木ダボを差し込み、ボックス天井面のダボ穴を連結した後、サラビスL=30で固定してください。

下穴がないので木ダボを差し込んだ位置付近にビス固定してください。



4 引出しの差し込み



施工手順

寸法単位:mm

16 バスケットの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ P29**

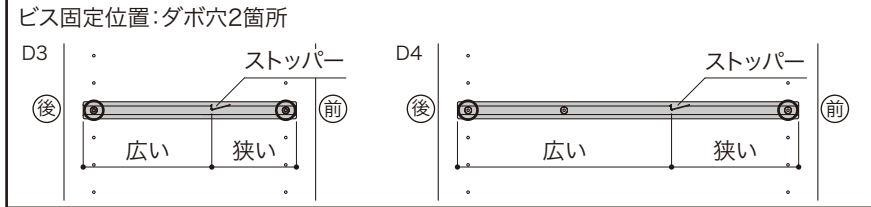
ご注意

バスケット設置列に必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを床から400~1400mmの間に取り付けてください。

1 バスケットレールの取り付け

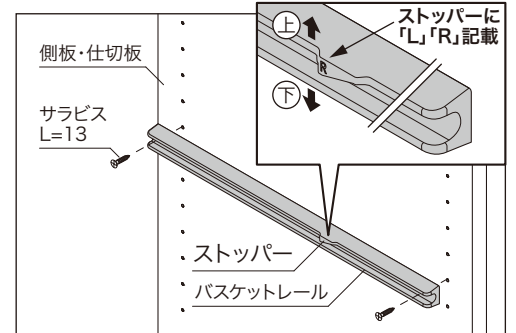
側板・仕切板へサラビスL=13を使って図のように固定してください。

レールの上下間隔は、ダボ穴5個以上あけて設置してください。



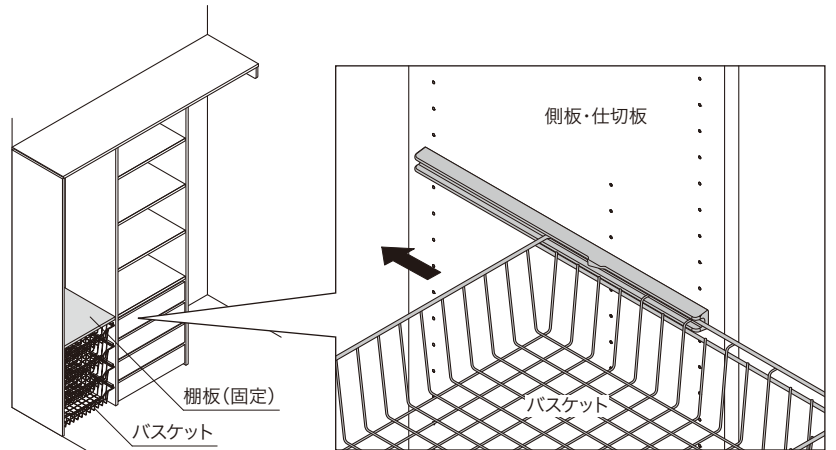
ご注意

- バスケットレールには左用・右用があります。間違いのないように注意してください。
- ビスを強く締めすぎないようにしてください。バスケットレールが破損するおそれがあります。



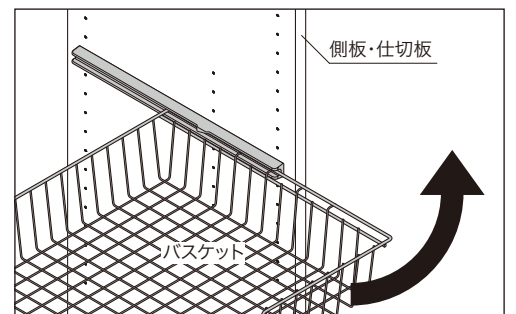
2 バスケットの差し込み

バスケットレールにバスケットを差し込んでください。



バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



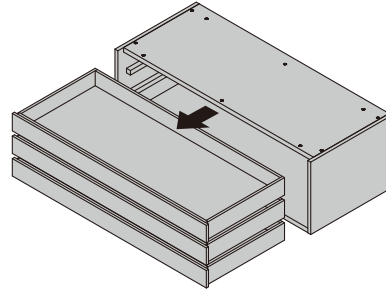
17 和盆の組立て

設置位置詳細: **設置位置イメージ P29**

和盆は側板、仕切板に固定する必要はありません。独立した収納ボックスとして設置してください。

1 各パーツの準備

組立て前に引出し部分を抜き出してください。



2 台輪枠の取り付け

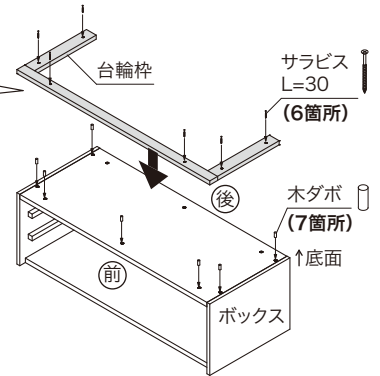
ボックス底面のダボ穴に木ダボを取り付けた後、台輪枠と連結します。さらにサラビスL=30で固定してください。

ご注意

この時、床面に傷を付けないよう、ビス頭のはみ出しに注意してください。



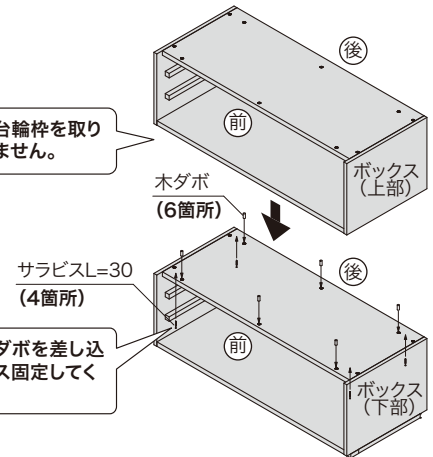
台輪枠はエッジテープ面が外向きになるように取り付けてください。



ボックスを連結する場合

ボックス上部にあいている連結穴に付属の木ダボを差し込んだ後、サラビスL=30で固定し、2個目のボックスの底面と連結してください。

上部のボックスは台輪枠を取り付ける必要はありません。

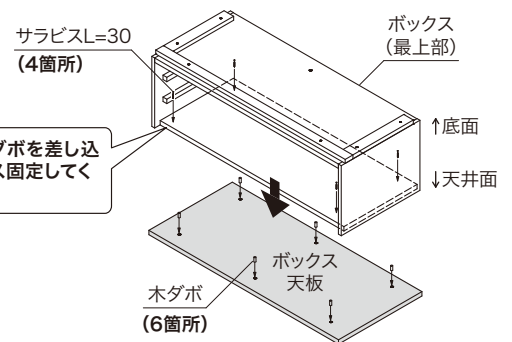


下穴がないので木ダボを差し込んだ位置付近にビス固定してください。

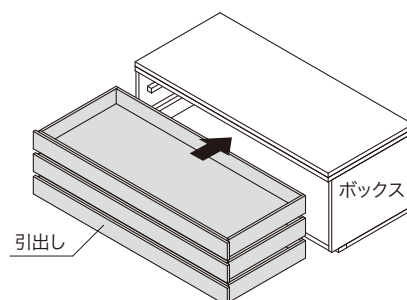
3 ボックス天板の取り付け

ボックス天板のダボ穴に木ダボを差し込み、ボックス天井面のダボ穴と連結した後、サラビスL=30で固定してください。

下穴がないので木ダボを差し込んだ位置付近にビス固定してください。



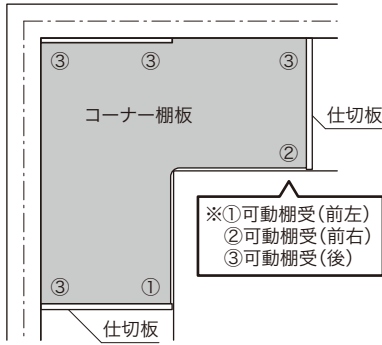
4 引出しの差し込み



施工手順 L型プラン・U型プラン

寸法単位:mm

[コーナー棚板 パーツ配置図]



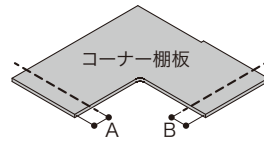
※図は棚板(可動)として使用する場合のパーツ配置図です。
棚板(固定)として使用する場合は樹脂金具とバインドビスL=16を使用します。

注意

使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

コーナー棚板をカットする場合

間口の幅と同寸法にカットします。(A,B 2辺どちらもカット可能)
カット寸法: D3・D4・・・AとBの合計が200mm以内
D6・・・AとBの合計が100mm以内
※D6サイズの場合、Bは50mmまでカット可能です。

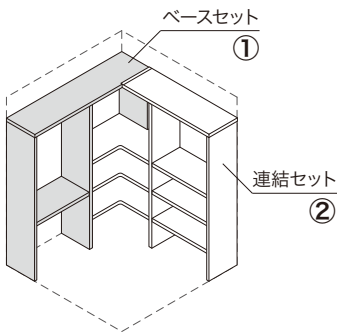


注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

1 ベースセット(①)の施工

施工手順 P12~ 参照

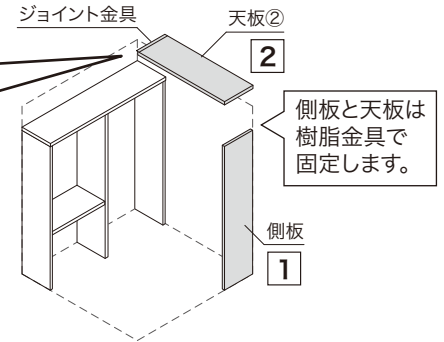
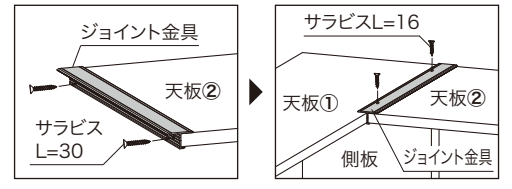


2 連結セット(②)の施工

1 側板の取り付け・2 天板の取り付け

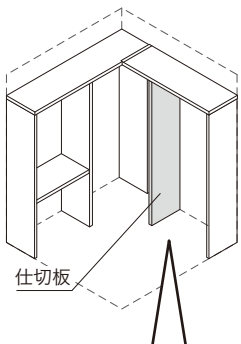
ジョイント金具の取り付け

ジョイント金具を使って下図のように天板①と②を固定します。

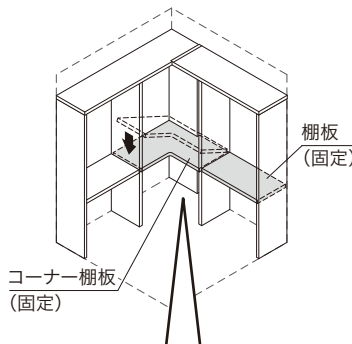


2 連結セット(②)の施工

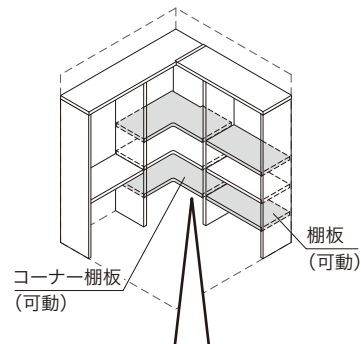
3 仕切板の墨出し・取り付け



4 固定パーツの取り付け



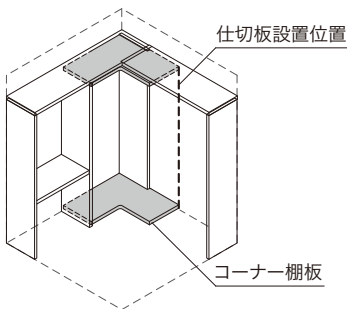
5 可動パーツの取り付け



L型完成

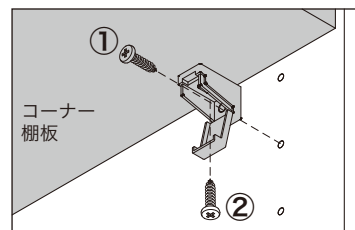
コーナー棚板を設置する場合

コーナー棚板を用いて仕切板設置位置を墨出ししてください。



コーナー棚板(固定)の取り付け

樹脂金具を使って下図のように固定してください。



樹脂金具取付位置: 上記 [パーツ配置図] 参照

コーナー棚板(可動)の取り付け

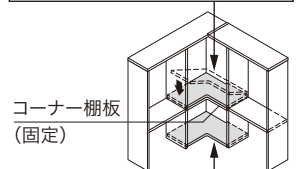
コーナー棚板(可動)はあらかじめ右記の位置に積み上げてから施工に取り掛かってください。

コーナー棚板を設置位置へ上げながら可動棚受をダボ穴に差し込み、コーナー棚板をのせてください。

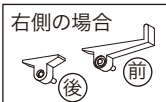
可動棚受取付位置: 上記 [パーツ配置図] 参照

※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

コーナー棚板(固定)より上側のコーナー棚板(可動)



コーナー棚板(固定)より下側のコーナー棚板(可動)



※上記はジョイント金具・コーナー棚板についての手順を説明しています。その他のプラスアップパーツについては、**施工手順 P16~** 参照。

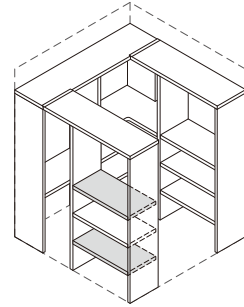
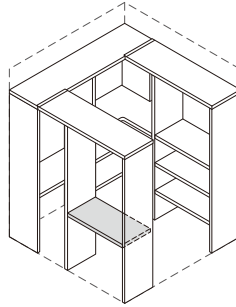
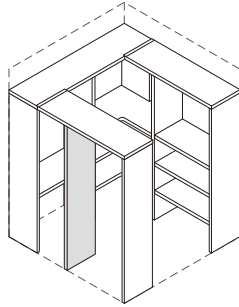
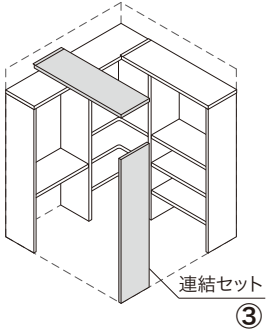
3 連結セット(③)の施工 (U型の場合のみ) ※以下は施工の流れのみ説明しています。連結セット(②)と同様に施工してください。

- 1 側板の取り付け
- 2 天板の取り付け

- 3 仕切板の墨出し・取り付け

- 4 固定パーツの取り付け

- 5 可動パーツの取り付け

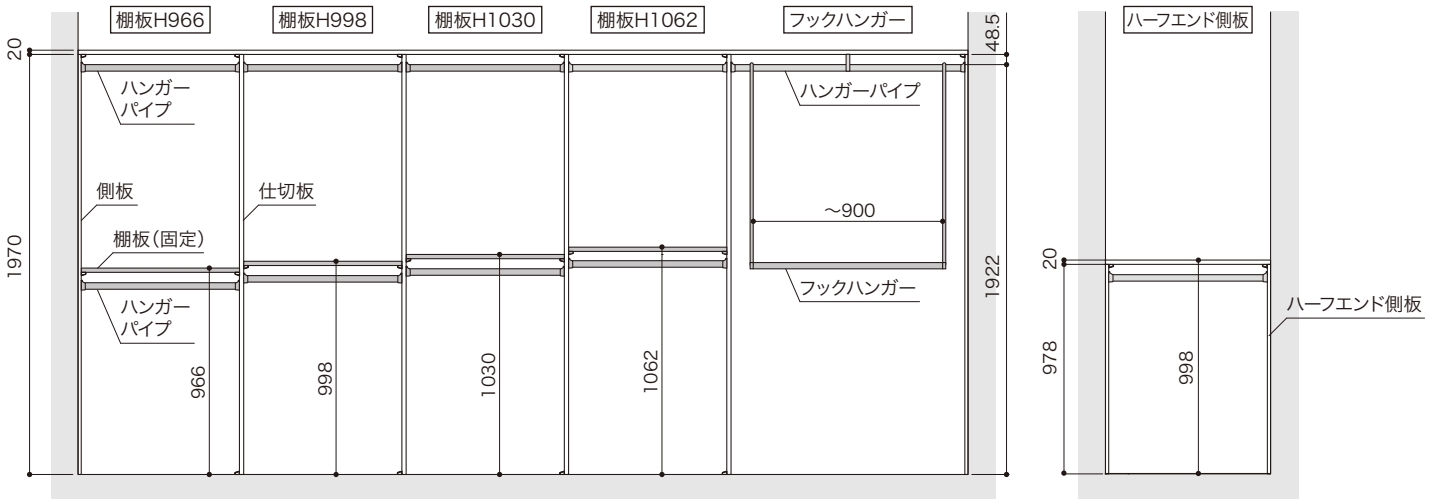


▶ U型完成

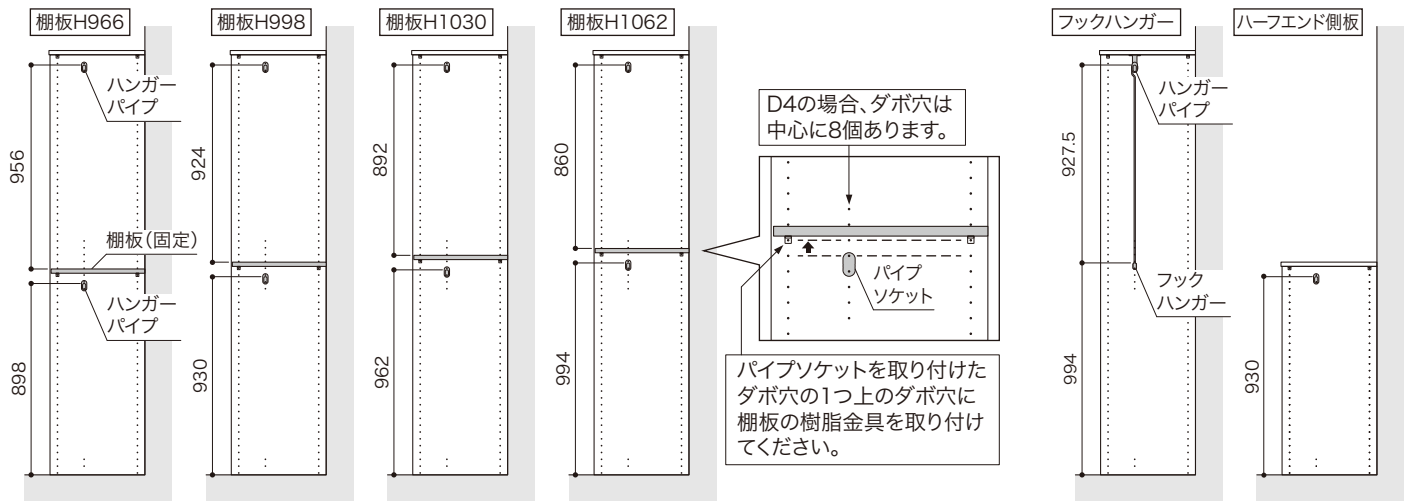
設置位置イメージ

■ ハンガーパイプ/フックハンガー

[正面図]



[断面図]



注意

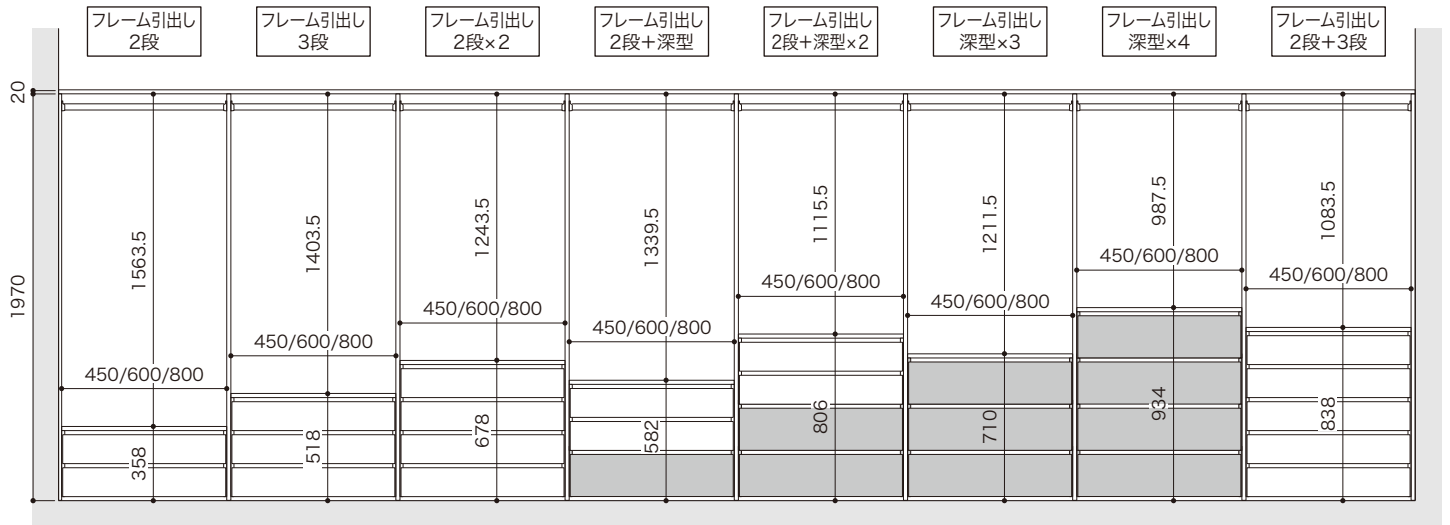
上部にハンガーパイプを設置する場合、その下のプラスアップパーツは洋服のサイズを考慮して取り付け高さを決定してください。

設置位置イメージ

寸法単位:mm

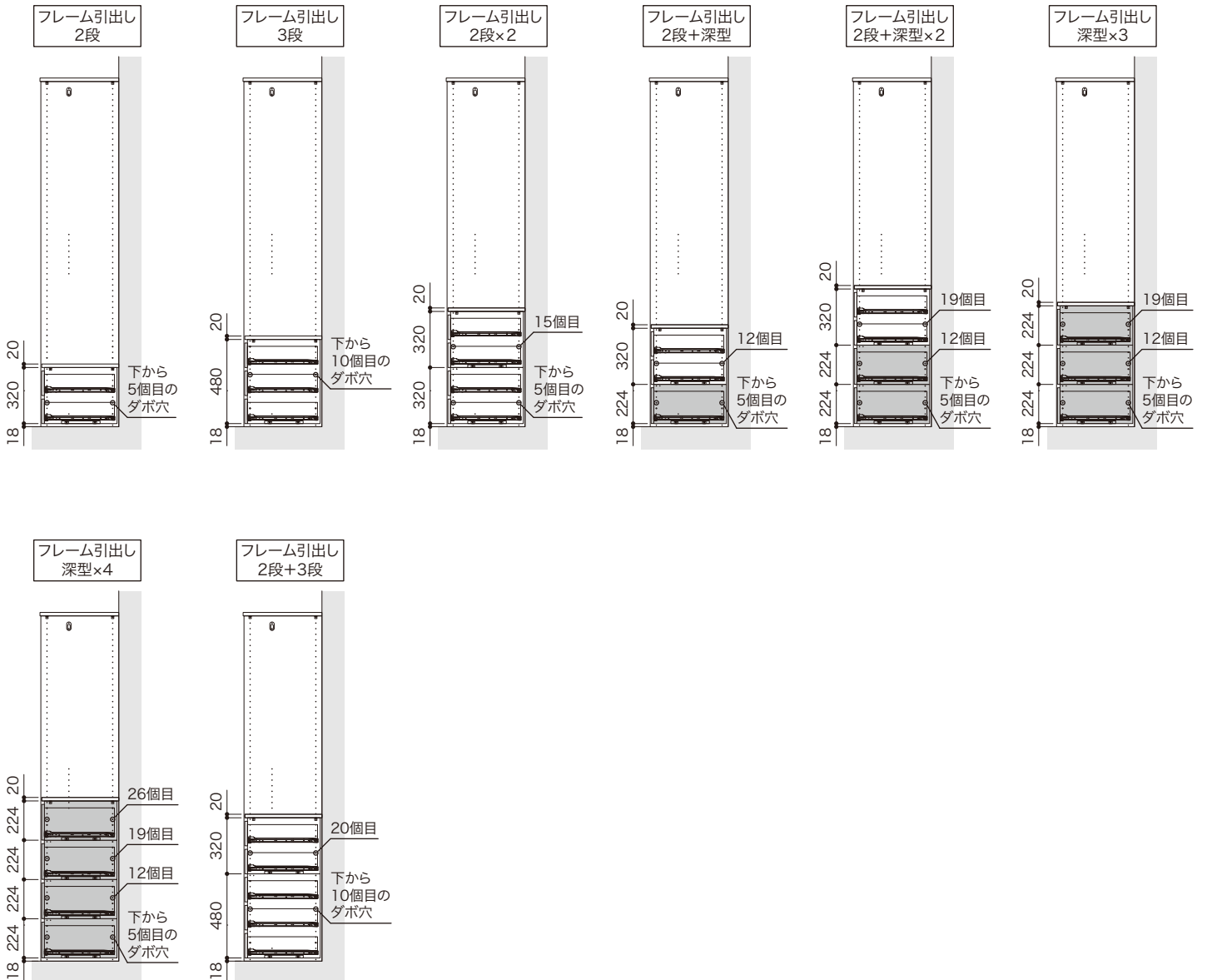
■ フレーム引出し2段・3段・深型フレーム引出し1段

[正面図]



位置だしピン差し込み位置

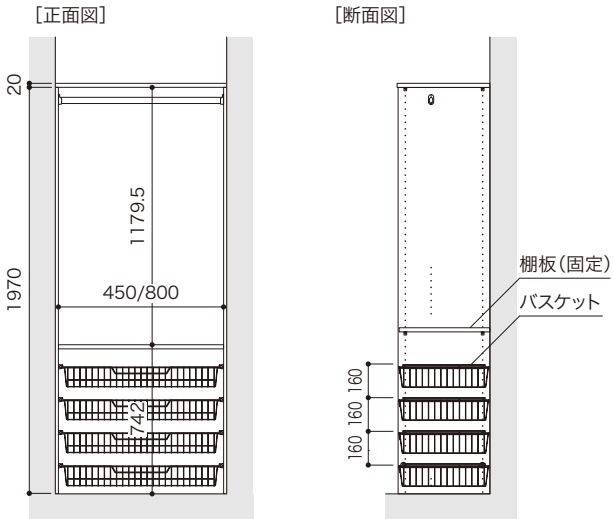
[断面図]



設置位置イメージ

寸法単位: mm

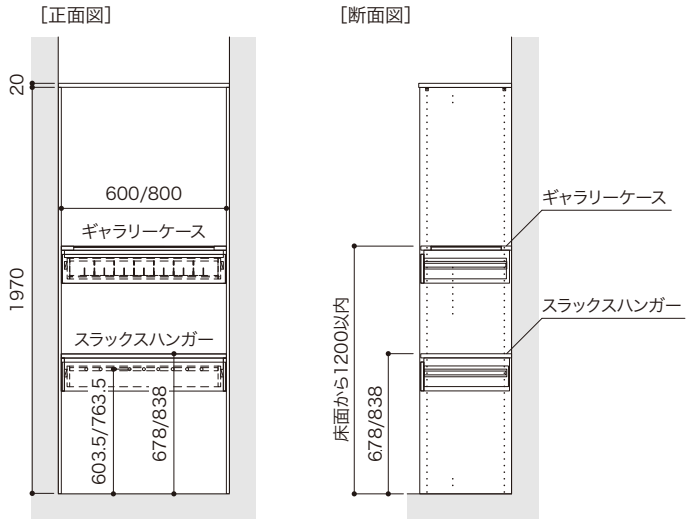
■ バスケット



バスケットの取り付け位置

バスケットの推奨取り付けピッチは160mm (ダボ穴5個分) です。

■ ギャラリーケース/スラックスハンガー



ギャラリーケースの取り付け位置

ギャラリーケースは床面から1200mm以内で設置してください。

スラックスハンガーの取り付け位置

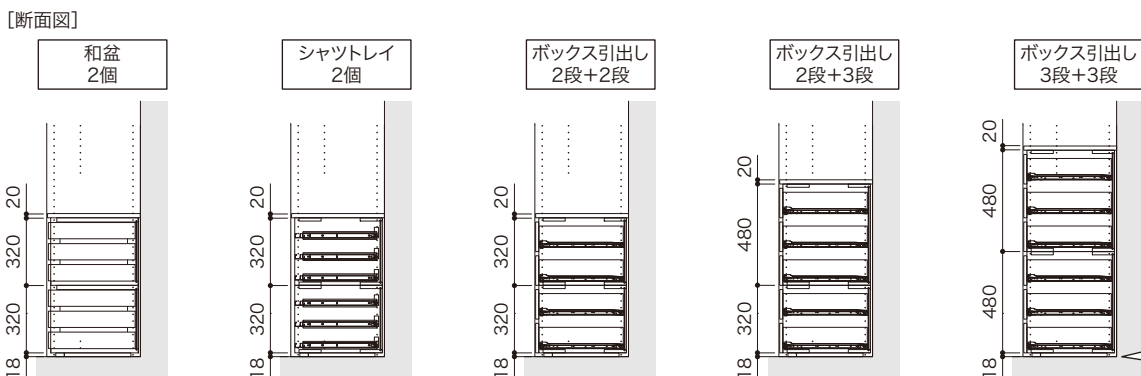
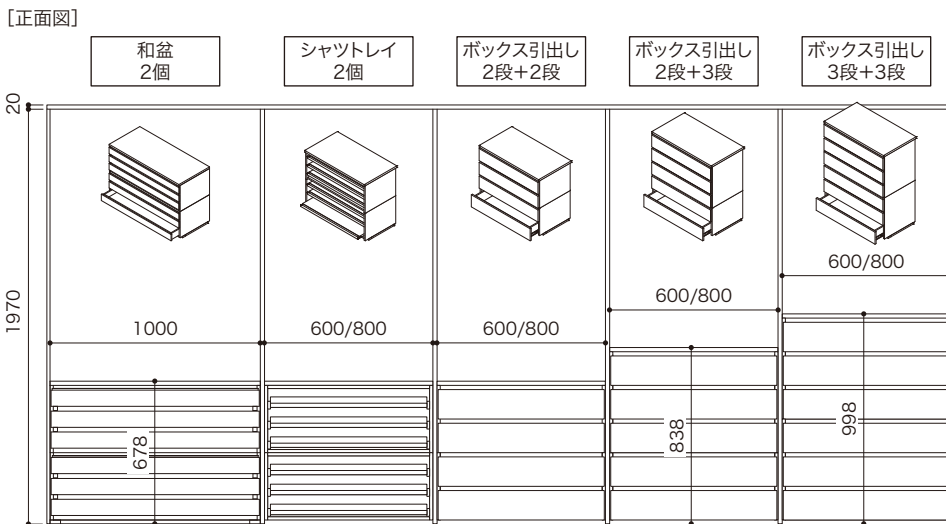
スラックスハンガー推奨取り付け高さは678mm、または838mmです。

推奨高さ	ダボ穴 (位置だしピン差し込み位置)
678mm	下から18個目
838mm	下から23個目

設置位置イメージ

寸法単位: mm

■ ボックスタイプの引出し (和盆/シャットレイ/ボックス引出し)



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名：クローゼットシステム収納

ウォールゼットノエル3

製造者名称：南海プライウッド（株）

発散区分：F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号：製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

下地部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先：品質管理チーム 087-894-8025

